

平成28年度 委託研究開発成果報告書

I. 基本情報

- 事業名： (日本語) 腎疾患実用化研究事業
(英語) Practical Research Project for Renal Diseases
- 研究開発課題名： (日本語) 慢性腎臓病 (CKD) 進行例の実態把握と透析導入回避のための有効な指針の作成に関する研究
(英語) The research to avoid initiation of renal replacement therapy based on epidemiology and evidences of advanced chronic Kidney Diseases in Japan. (REACH-J study)
- 研究開発担当者 (日本語) 国立大学法人筑波大学 医学医療系臨床医学域腎臓内科学
教授 山縣 邦弘
- 所属 役職 氏名： (英語) Department of Nephrology, Division of Clinical Medicine, Faculty of Medicine, University of Tsukuba
Professor, Kunihiro Yamagata
- 実施期間： 平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日
- 分担研究 (日本語) 副総括, 糖尿病、腎障害進行例の対応検討, 国際比較研究の検討
開発課題名： (英語) Vice chairman; investigation of the advanced diabetic nephropathy, international relations
- 研究開発分担者 (日本語) 金沢大学医薬保健研究域医学系腎臓内科学 教授 和田 隆志
所属 役職 氏名： (英語) Department of Nephrology and Laboratory Medicine, Faculty of Medicine, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences, Kanazawa University, Professor, Takashi Wada

分担研究 (日本語) ガイドライン作成・検証分科会, 他学会との調整, 高齢者診療—老化・高齢化に伴う腎疾患の特徴を調査・研究
 開発課題名: (英語) Subcommittee of guideline development and inspection; adjustment with other institutes, scientific research for characteristic of renal disease with elderly patient
 研究開発分担者 (日本語) 川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学 教授 柏原 直樹
 所属 役職 氏名: (英語) Department of Nephrology and Hypertension, Kawasaki Medical School, Professor, Naoki Kashihara

分担研究 (日本語) ガイドライン作成・検証分科会責任者, 高齢者診療担当
 開発課題名: (英語) Chairman of subcommittee of guideline development and inspection; medical care for elderly person
 研究開発分担者 (日本語) 埼玉医科大学 教授 岡田 浩一
 所属 役職 氏名: (英語) Saitama Medical University, Professor of Medicine, Hirokazu Okada

分担研究 (日本語) ガイドライン作成・検証分科会, 高血圧診療連携—腎専門医、高血圧専門医の両者の視点から
 開発課題名: (英語) Subcommittee of guideline development and inspection; cooperation of hypertensive medical treatment, the viewpoint of both of the nephrologists and hypertensive specialists
 研究開発分担者 (日本語) 自治医科大学 教授 長田 太助
 所属 役職 氏名: (英語) Jichi Medical University, Professor, Daisuke Nagata

分担研究 (日本語) ガイドライン作成・検証分科会, 糖尿病診療連携—腎障害進展阻止
 開発課題名: (英語) Subcommittee of guideline development and inspection; cooperation of diabetes mellitus, prevention for kidney dysfunction
 研究開発分担者 (日本語) 岡山大学病院新医療研究開発センター 教授 四方 賢一
 所属 役職 氏名: (英語) Center for Innovative Clinical Medicine, Okayama University Hospital. Professor, Kenichi Shikata.

分担研究 (日本語) ガイドライン作成・検証分科会, CKD 腎外合併症対策—腎不全以外のCKDアウトカム対策
 開発課題名: (英語) Subcommittee of guideline development and inspection; prevention of extrarenal complication, counterplan for CKD outcome out of renal failure
 研究開発分担者 (日本語) 東海大学医学部腎内分泌代謝内科 教授 深川 雅史
 所属 役職 氏名: (英語) Division of Nephrology, Endocrinology and Metabolism, Tokai University School of Medicine, Professor, Masafumi Fukagawa

分担研究 (日本語) CKD 疫学調査分科会責任者, CKD、KDB データベース構築
開発課題名: (英語) Chairman of subcommittee of epidemiological investigation; CKD database construction from KDB
研究開発分担者 (日本語) 福島県立医科大学医学部生活習慣病・慢性腎臓病(CKD)病態治療学講座 准教授 旭 浩一
所属 役職 氏名: (英語) Department of Chronic Kidney Disease Initiatives, Fukushima Medical University School of Medicine, Associate Professor, Koichi Asahi

分担研究 (日本語) CKD 疫学調査分科会担当, 他コホート研究との連携
開発課題名: (英語) Subcommittee of epidemiological investigation; cooperation of other cohort study
研究開発分担者 (日本語) 新潟大学 医歯学系 教授 成田一衛
所属 役職 氏名: (英語) Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University, Professor, Ichiei Narita

分担研究 (日本語) CKD 疫学調査分科会担当, KDB データベース構築
開発課題名: (英語) Subcommittee of epidemiological investigation; CKD database construction from KDB
研究開発分担者 (日本語) 九州大学医学研究院包括的腎不全治療学 教授 鶴屋 和彦
所属 役職 氏名: (英語) Department of Integrated Therapy for Chronic Kidney Disease, Graduate School of Medical Science, Kyushu University, Professor, Kazuhiko Tsuruya

分担研究 (日本語) CKD 疫学調査分科会担当, 特定健診コホートの解析
開発課題名: (英語) Subcommittee of epidemiological investigation; analysis of special health check-up cohort study
研究開発分担者 (日本語) 宮崎大学医学部医学科血液・血管先端医療学講座 教授 藤元 昭一
所属 役職 氏名: (英語) Department of Hemovascular Medicine, Faculty of Medicine, University of Miyazaki. Professor, Shouichi Fujimoto

分担研究 (日本語) 腎・移植・透析専門医間の連携システム構築, CKD 疫学調査分科会担当
開発課題名: (英語) Subcommittee of epidemiological investigation; cooperation systems construction among nephrologists, transplant, dialysis specialists
研究開発分担者 (日本語) 聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科 教授 柴垣 有吾
所属 役職 氏名: (英語) Division of Nephrology and Hypertension, St Marianna University, , Professor of Medicine, Yugo Shibagaki

分担研究 (日本語) 保存期腎不全・透析・腎移植連携分科会責任者, 腎、透析、移植専門医間のシステムの構築
 開発課題名: (英語) Chairman of subcommittee of cooperation among chronic renal failure, transplantation and dialysis; cooperation systems construction among nephrologists, transplant, dialysis specialists
 研究開発分担者 (日本語) 国立大学法人神戸大学大学院医学研究科腎臓内科部門 教授 西 慎一
 所属 役職 氏名: (英語) Division of Nephrology and Kidney Center, Kobe University Graduate School of Medicine, Professor, Shinichi Nishi

分担研究 (日本語) 保存期腎不全・透析・腎移植連携, 腎臓移植レシピエント数調査
 開発課題名: (英語) Subcommittee of cooperation among chronic renal failure, transplantation and dialysis; investigation of number of the kidney transplant recipients investigation
 研究開発分担者 (日本語) 大阪市立大学大学院医学研究科泌尿器病態学 教授 仲谷 達也
 所属 役職 氏名: (英語) Department of Urology, Osaka City University Graduate of Medicine, Professor, Tatsuya Nakatani

分担研究 (日本語) 保存期腎不全・透析・腎移植連携, 保存期慢性腎不全の疫学担当
 開発課題名: (英語) Subcommittee of cooperation among chronic renal failure, transplantation and dialysis; epidemiology of chronic renal failure
 研究開発分担者 (日本語) 金沢医科大学医学部腎臓内科学 教授 横山 仁
 所属 役職 氏名: (英語) Department of Nephrology, School of Medicine, Kanazawa Medical University, Professor, Hitoshi Yokoyama

分担研究 (日本語) 臨床研究関連分科会責任者
 開発課題名: (英語) Chairman of subcommittee of clinical research
 研究開発分担者 (日本語) 日本医科大学大学院医学研究科腎臓内科 教授 鶴岡 秀一
 所属 役職 氏名: (英語) Department of Nephrology, Nippon Medical School, Professor, Shuichi Tsuruoka

分担研究 (日本語) 医療経済学
 開発課題名: (英語) Health economics
 研究開発分担者 (日本語) 筑波大学 准教授 近藤 正英
 所属 役職 氏名: (英語) University of Tsukuba, Associate Professor, Masahide Kondo

分担研究 (日本語) QI 調査方法の検討、NDB による調査担当
 開発課題名: (英語) Analysis of method for QI investigation, Investigation for NDB in CKD

研究開発分担者 (日本語) 九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター
教授 中島 直樹

所属 役職 氏名 : (英 語) Medical Information Center, Kyushu University Hospital
Professor, Naoki Nakashima

分担研究 (日本語) 事務局担当

開発課題名 : (英 語) Secretariat

研究開発分担者 (日本語) 筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学 准教授 斎藤 知栄

所属 役職 氏名 : (英 語) Department of Nephrology, Division of Clinical Medicine, Faculty of
Medicine, University of Tsukuba, Associate Professor, Chie Saito

分担研究 (日本語) 保存期慢性腎不全の疫学担当, コホート研究患者登録および経過観察

開発課題名 : (英 語) Epidemiology of chronic kidney failure except for renal replacement
therapy; cohort study including patient registration and follow-
up

研究開発分担者 (日本語) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科血液浄化療法人材育成システム開発学
教授 杉山 斉

所属 役職 氏名 : (英 語) Department of Human Resource Development of Dialysis Therapy for
Kidney Disease, Okayama University Graduate School of Medicine,
Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Professor, Hitoshi Sugiyama

分担研究 (日本語) コホート研究患者登録および経過観察

開発課題名 : (英 語) Cohort study including patient registration and follow-up

研究開発分担者 (日本語) 香川大学医学部附属病院 腎臓内科 講師 祖父江 理

所属 役職 氏名 : (英 語) Division of Nephrology, Kagawa University Hospital, Lecture, Tadashi
Sofue

分担研究 (日本語) コホート研究患者登録および経過観察

開発課題名 : (英 語) Cohort study including patient registration and follow-up

研究開発分担者 (日本語) 名古屋大学大学院医学系研究科 教授 丸山 彰一

所属 役職 氏名 : (英 語) Nagoya University Graduate School of Medicine, Professor, Shoichi
Maruyama

分担研究 (日本語) コホート研究患者登録および経過観察

開発課題名 : (英 語) Cohort study including patient registration and follow-up

研究開発分担者 (日本語) 京都府立医科大学大学院医学研究科腎臓内科学 講師 玉垣 圭一

所属 役職 氏名 : (英 語) Department of Nephrology, Graduate School of Medical Science, Kyoto
Prefectural University of Medicine, Lecturer, Keiichi Tamagaki

分担研究 (日本語) コホート研究患者登録および経過観察
開発課題名: (英語) Cohort study including patient registration and follow-up
研究開発分担者 (日本語) 湘南鎌倉総合病院 副院長 腎臓病総合医療センター長 内科統括責任者
臨床研究センター長 小林 修三
所属 役職 氏名: (英語) Shonan Kamakura General Hospital, Vice President, Director of Kidney
Disease and Transplant Center, Director of Department of Internal
Medicine, Shuzo Kobayashi

II. 成果の概要 (総括研究報告)

・ 研究開発代表者による報告の場合

ガイドライン作成・検証:

・各分担研究者、研究協力者により、平成 26 年度に作成されたガイドライン「CKD ステージ G3b～5 患者のための腎障害進展予防とスムーズな腎代替療法への移行に向けた診療ガイドライン 2015」のエビデンスレベル及び推奨グレードの検証が行われた。同ガイドラインの普及率および遵守率を評価するため WEB アンケートを日本腎臓学会会員に実施し、154 名からの回答を得た。また初年度に実施した本指針の部分改訂を行うための CQ の見直し (修正、削除、追加) をもとに本文の追加修正を行った。すなわち平成 29 年度の改訂版指針「CKD ステージ G3b～5 診療ガイドライン 2017」の発表を目指し、平成 28 年 9 月までに発表されたエビデンスを収集して各分科会でシステマティックレビューを実施し、上記アンケート結果を踏まえて各 CQ に対するステートメントと解説を修正・執筆した。分科会全員で議論を行い、部分改訂されたガイドライン原稿案を策定した。平成 29 年 2 月 17 日より日本腎臓学会 HP にてガイドライン PDF ファイルを公開し、パブリックコメント募集を開始した。また並行して関連学会(日本高血圧学会、日本糖尿病学会、日本透析医学会、日本老年医学会、日本循環器学会、日本脳神経外科学会、日本臨床腎移植学会)へ査読依頼を行った。平成 29 年 3 月末までに、各章の担当で査読意見・パブコメを確認し、修正案を作成した。

CKD 疫学調査:

・これまで作成した特定健診コホートのデータ収集を継続して、集積されたデータの突合作業を実施した第二次標準解析ファイル (～26 年度、データ延べ約 280 万件) 並びに 20 年度特定健診データと約 5 年分の死亡個票データを突合したアウトカム解析用ファイル (データ約 28 万件) が完成した。標準解析ファイルからの各個研究 5 編が論文化された。

・KDB 調査は全国 1738 市町村中 462 市町村 (26.6%) からの協力が得られることが確定し、協力保険者とデータ提供に関する契約手続きを行った。データ提供の協力が得られた都道府県単位の国保連合会の協力を得て KDB に含まれる帳票化統計情報を用いた検討が開始された。

・CKD 進行例の前向きコホート: 国内の腎専門医が診療する CKD ステージ G3b-5 患者の前向きコホート(REACH-J-CKD コホート研究)を形成し、患者の QOL 調査、主治医の診療方針など診療実態や予後の調査の準備を行った。2017 年 3 月時点で登録患者数は 2,100 例を超え、7 月の 2,400 例登録目標に順調に近づいた。また REACH-J-CKD コホート研究のプロトコル論文を投稿した。REACH-J-CKD コホートは、DOPPS platform を採用し、日本全国を満遍なくランダムサンプリングによる参

加施設を検討することにより、疫学的にわが国の CKD 進行例の実態調査が実施されると同時に、国際比較可能な CKDoppo 研究として、アメリカ、フランス、ドイツ、ブラジルとの国際共同研究に向けた協議を海外研究者と行った。SSMIX2 によるデータ収集システムの開発を並行して進めている。

末期腎不全実態調査：

2015 年度より日本臨床腎移植学会の統計調査委員会との共同で、全国の腎移植施設へのアンケート調査を実施し、2015 年度末における腎移植患者の生存者数は 21,200 人、生着者数は 15,164 人と推計された。この内容が日本移植学会学会誌、『移植』Vol. 51, No. 2・3, 「2015 年実施症例の集計報告と追跡調査結果」に報告された。NDB による慢性腎臓病患者数調査グループと協力して、NDB からの抽出値と実態調値の差異を検討した。

理想の CKD 診療体制の構築：

FROM-J 研究の 3.5 年間の解析結果が論文化された。2016 年度は FROM-J 研究 5 年間のデータベースの構築を行い、二次研究の解析に向けた準備を行った。

CKD については一般市民の認知度が未だ不十分であり、本年度は平成 29 年 1 月 22 日に市民公開講座を開催した。研究啓発ならびにガイドラインの普及を目的にホームページを開設し、研究の進捗状況を掲載した。

Construction and validation of CKD stage 3b-5 clinical guideline

To improve "Guidelines for CKD stage G3b -5 patients for prevention the kidney damage and shift to smooth transition to renal replacement therapy 2015", we performed WEB questionnaire about the guideline utilization to the member of Japanese Society of Nephrology. Reevaluation of evidence level of guidelines and recommended grade, and review of clinical questions (CQ).

For the newly made CQs, we carried out a systematic review by September, 2016 and wrote statements and commentaries for each CQ.

For brush up the new guideline, we collected the opinions from our team, then collected public comments from the member of Japanese Society of Nephrology. We also asked the peer reviews from related academic societies. Adding those comment and reviews, we made a final draft by March, 2017.

Epidemiologic research of chronic kidney disease

We constructed two other standard analysis file of specific health check and guidance system cohort. One was 5-year follow-up data and the other was outcome analysis, which combined death record. Five articles from these standard analysis files were published.

KDB investigation progressed with cooperation from 462 cities, towns and villages, and the procedure of collection data from KDB was made. We start to investigate epidemiological analysis using KDB data.

Beyond 2,100 patients were registered for REACH-J-CKD cohort study by end of March, 2017. We also collected patients questionnaire form, baseline data and the medical treatment policy of the nephrologists. We submitted protocol paper of REACH-J-CKD cohort study.

REACH-J-CKD cohort study utilize DOPPS platform, which can be a national representative of CKD

patients, and we can compare our data with overseas researchers in the United States, France, Germany and Brazil, as CKDopps study.

Investigation of end stage kidney disease

We estimated the number of survived renal-transplant recipients as 21,200 and functional graft as 15,164 in the end of 2015 from the questionnaire survey to the renal transplantation facilities performed by the Japanese society for clinical renal transplantation.

We also tried to count the number of dialysis patients and renal-transplant recipients by using NDB. Further investigations were needed to clarify accurate number of those patients.

Establishment of ideal CKD practice pattern

A 3.5years cluster randomized trail of the FROM-J has been reported and published. In 2016, we try to construct 5-years FROM-J cohort study data analytic file for the preparations of the subanalysis.

We held a public open lecture on January 22, 2017 for cognition of CKD. We made a homepage for the purpose of the enlightenment of our study and guidelines.

III. 成果の外部への発表

(1) 学会誌・雑誌等における論文一覧（国内誌 36 件、国際誌 133 件）

- 1 柏原直樹, 佐藤稔. 腎臓内科・泌尿器科 . 老化と腎と血管. 2016,3(4):329-335(2016.04)
- 2 柏原直樹, 依光大祐, 庵谷千恵子, 桑原篤憲. CKDにおける血圧管理. 臨床と研究. 2016, 93(7): 938-944(2016.07)
- 3 長洲一, 城所研吾, 柏原直樹. 慢性腎臓病(CKD)と急性腎障害(AKI) 循環器薬物療法を行う際の投薬計画.医学のあゆみ. 2016,259(4):1353-8(2016.12)
- 4 柏原直樹, 長洲一, 城所研吾, 佐藤稔. 腎代替療法とフリーラジカル 慢性腎臓病(CKD). 腎と透析. 2016, 81(6):1007-1013(2016.12)
- 5 丸山彰一、(2名)、岡田浩一、(16名). 思春期・青年期の患者のための CKD 診療ガイド. 日本腎臓学会誌 2016, 58, 1095-233.
- 6 柏原直樹、(2名)、岡田浩一、(40名). がん薬物療法時の腎障害診療ガイドライン 2016. 日本腎臓学会誌 2016, 58, 985-1050.
- 7 岡田浩一 CKD の診療ガイドライン.日本医師会雑誌 2016, 145, 1421-4.
- 8 岡田浩一. ネフローゼ症候群の管理と治療. 日本医事新報 2016, 4818, 38-47.
- 9 岡田浩一. CKD 進展抑制と治療 RA 系阻害薬を中心とする薬物療法の現状と今後への期待.内科 2016, 118, 83-7.
- 10 村上 琢哉, 小林 高久, 川又 睦, 竹井 尚子, 秋元 哲, 武藤 重明, 長田 太助. 代謝性アルカローシスおよび腎石灰沈着を認めた腎癌合併末期慢性腎不全の 1 例. 臨床体液(0914-725X)43 巻 Page23-27(2016.10)

- 11 若林 奈津子, 武田 真一, 菅生 太郎, 清水 俊洋, 黒澤 明, 小森 さと子, 伊澤 佐世子, 木村 貴明, 秋元 哲, 齋藤 修, 武藤 重明, 八木澤 隆, 長田 太助. 人工血管挿入後、過大シャントは呈さずに痙攣発作を生じた血液透析患者の1例 動静脈シャントによる臓器虚血を考察する. 日本透析医学会雑誌(1340-3451)49 巻 6 号 Page419-423(2016.06)
- 12 岩津 好隆(自治医科大学 内科学講座腎臓内科部門), 長田 太助. 【全身臓器と腎障害 障害により惹起・増幅される病態の制御を目指して】 治療 実地医家が知っておくべき治療と専門医コンサルトのタイミング ACE 阻害薬とアンジオテンシン受容体拮抗薬の使い方. Medical Practice(0910-1551)33 巻 6 号 Page955-960(2016.06)
- 13 長田 太助 【動脈硬化と臓器障害】 高齢者 CKD の特徴と管理. 循環 plus(1345-9155)16 巻 8 号 Page2-7(2016.05)
- 14 小林 高久, 長田 太助 【《症例から学ぶ》内科疾患の診断・治療ピットフォール】 (第3章)腎臓 慢性腎臓病(CKD). 内科(0022-1961)117 巻 4 号 Page719-725(2016.04)
- 15 長田太助, 瀧 史香, 前嶋明人, 田中哲洋【慢性腎臓病(CKD)診療を極める】 CKD への適切なアプローチと今後の治療の方向性.(座談会/特集) 内科(0022-1961)118 巻 1 号 Page111-120(2016.07)
- 16 四方賢一. 糖尿病合併症の成因 Up to Date その発症機序の解明に迫る 腎症の成因と新たな治療標的. 糖尿病合併症学会誌. 2016. 30, 1. 23-25.
- 17 西慎一. 腎移植患者の免疫抑制薬の使い方. 腎臓内科・泌尿器科. 2016, 3(5), 523
- 18 西慎一. mTOR 阻害薬とインターフェロン. 腎と透析. 2016, 81(1), 111-15.
- 20 野原 康伸, 井上 創造, 磯田 達也, 白水 麻子, 杉山 康彦, 瀬高 香澄, 前崎 元美, 中島 直樹. センサネットワークを用いた急性期病棟の包括的行動センシングによる看護師業務改善.第20回日本医療情報学会春季学術大会抄録集. 2016, 68-69.
- 21 南雲 文夫, 藤井 進, 野中 小百合, 堀田 多恵子, 中島 直樹, 末岡 榮三郎, 康 東天. 容易・正確・効率的な JLAC10 マッピングツールとして体外診断用医薬品承認番号利用の有効性第36回医療情報学連合大会(第17回日本医療情報学会学術大会)論文集. 2016,970-973.
- 22 藤井 進, 野中 小百合, 南雲 文夫, 堀田 多恵子, 末岡 榮三郎, 中島 直樹, 康 東天. 統合解析可能な大規模医療情報データベース構築と維持における、JLAC10 自動マッピングツールの作成と性能評価.第36回医療情報学連合大会(第17回日本医療情報学会学術大会)論文集. 2016,512-515.
- 23 中島 直樹, 植木 浩二郎, 美代 賢吾, 興梠 貴英, 森永 裕, 谷 祐児. J-DREAMS などの疾患コホート研究の意義と医療情報部門の役割.第36回医療情報学連合大会(第17回日本医療情報学会学術大会)論文集. 2016, 38-41.
- 24 安徳 恭彰, 若田 好史, 行実 史子, 錦谷 まりこ, 徳永 章二, 中島 直樹. 汎用型臨床研究データ収集システムの比較研究.第36回医療情報学連合大会(第17回日本医療情報学会学術大会)論文集. 2016.,284-287.
- 25 山本 陵平, 新澤 真紀, 守山 敏樹, 猪阪 善隆, 杉山 斉, 丸山彰一, 中島 直樹, 岡田浩一, 岡田 美保子, 柏原直樹. コホート研究を目的とした情報処理システム: コホートメーカー. 第36回医療情報学連合大会(第17回日本医療情報学会学術大会)論文集. 2016.,544-545.
- 26 松本 晃太郎, 野原 康伸, 若田 好史, 山下 貴範, 牟田 大助, 西 徹, 中熊 英貴, 小妻 幸男, 甲斐 聖人, 町田 二郎, 副島 秀久, 中島 直樹. 機械学習を用いた探索的なクリニカルパス分析.第36回医療情報学連合大会(第17回日本医療情報学会学術大会)論文集. 2016, 556-559.

- 27 伊豆倉 理江子, 山下 貴範, 野尻 千夏, 野原 康伸, 中島 直樹. MID-NET 事業成果報告: 医薬品曝露に伴う有害事象の発現に関するスクリプト検討. 第 36 回医療情報学連合大会(第 17 回日本医療情報学会学術大会)論文集. 2016,784-787.
- 28 藤井 進, 野中 小百合, 南雲 文夫, 堀田 多恵子, 末岡 榮三郎, 中島 直樹, 康 東天. パターン ID と患者 ID から生成する統合 ID(自動名寄せ技術)の個人を特定する能力評価と、それを用いた施設間の連結がもたらす大規模医療情報データベースにおける経時性や網羅性に対する有用性の評価. 第 36 回医療情報学連合大会(第 17 回日本医療情報学会学術大会)論文集. 2016,1122-1125.
- 29 野原 康伸, 松本 晃太郎, 中島 直樹. 機械学習手法を用いた脳梗塞の予後予測因子の抽出. 第 3 回医療情報学会・人工知能学会 AIM 合同研究会抄録集. 2016, 01-06.
- 30 柏原直樹, 庵谷千恵子, 長洲一. 血圧コントロールとRA系阻害薬の臨床的意義. カレントセラピー. 2017, 35(1):48-53(2017.01)
- 31 桑原篤憲, 柏原直樹. 病態に応じた治療法 慢性腎臓病(CKD)を合併する高血圧 微量アルブミン尿陽性患者から透析患者まで. 医学のあゆみ. 2017,260(5):401-7(2017.02)
- 32 岡田浩一 診療ガイドライン at a glance 血尿診断ガイドライン 2013. 日本内科学会雑誌 2017, 106, 70-4.
- 33 四方賢一. 糖尿病性腎症の治療 現状と展望. Diabetes Journal. 2017. 45, 1,. 1-6.
- 34 四方賢一. 合併症のある糖尿病患者の診療 透析導入直前,透析導入後の糖尿病患者の管理. 内科 2017. 119,1.89-93.
- 35 四方賢一. 糖尿病性腎症の新しい治療薬. カレントセラピー 2017.35,1.72-77.
- 36 栗田宣明, 脇田貴文, 福原俊一, 柴垣有吾. 効果的な患者指導のエビデンス作成を目指した尺度開発と検証の実際. 日本透析医学会雑誌 , 2017; 50(3) : 180-181.
1. Hoshino J, Yamagata K, Nishi S, Nakai S, Masakane I, Iseki K, Tsubakihara Y. Significance of the decreased risk of dialysis-related amyloidosis now proven by results from Japanese nationwide surveys in 1998 and 2010. Nephrol Dial Transplant. 2016, 31(4): 595-602.
2. Nagasawa Y, Yamamoto R, Shinzawa M, Hasuike Y, Kuragano T, Isaka Y, Nakanishi T, Iseki K, Yamagata K, Tsuruya K, Yoshida H, Fujimoto S, Asahi K., Moriyama T, Watanabe T. Body Mass Index Modifies an Association between Self-Reported Regular Exercise and Proteinuria. J Atheroscler Thromb. 2016, 23(4): 402-412.
3. Kai H, Doi M, Okada M, Yamada K, Iwabe H, Saito C, Yamagata K. Evaluation of the Validity of a Novel CKD Assessment Checklist Used in the Frontier of Renal Outcome Modifications in Japan Study. J Ren Nutr. 2016, 26(5): 334-340.
4. Kai H, Shinozaki Y, Nishikubo A, Watanabe M, Tawara T, Iwase M, Tsunoda R, Moriyama N, Usui T, Kawamura T, Nagai K, Hagiwara M, Saito C, Morito N, Usui J, Yamagata K. Two autosomal dominant polycystic kidney (ADPKD) cases with advanced renal dysfunction, effectively treated with tolvaptan. CEN Case Reports. 2016, 5(1):87-90.

5. Yamagata K, Makino H, Iseki K, Ito S, Kimura K, Kusano E, Shibata T, Tomita K, Narita I, Nishino T, Fujigaki Y, Mitarai T, Watanabe T, Wada T, Nakamura T, Matsuo S; Study Group for Frontier of Renal Outcome Modifications in Japan(FROM-J): Effect of Behavior Modification on Outcome in Early- to Moderate-Stage Chronic Kidney Disease: A Cluster-Randomized Trial. PLoS One,2016, 21;11(3): e0151422.
6. Sumida K, Molnar MZ, Potukuchi PK, Thomas F, Lu JL, Ravel VA, Soohoo M, Rhee CM, Streja E, Yamagata K, Kalantar-Zadeh K, Kovesdy CP. Association between vascular access creation and deceleration of estimated glomerular filtration rate decline in late-stage chronic kidney disease patients transitioning to end-stage renal disease.Nephrol Dial Transplant.2016, Electronic Publication: 2016 May 30.
7. Nagai K, Sairenchi T, Irie F, Watanabe H, Ota H, Yamagata K. Relationship between Estimated Glomerular Filtration Rate and Cardiovascular Mortality in a Japanese Cohort with Long-Term Follow-Up.PLoS One. 2016, 11(6): e0 156792.
8. Usui J, Tawara-Iida T, Takada K, Ebihara I, Ueda A, Iwabuchi S, Ishizu T, Iitsuka T, Takemura K, Kawamura T, Kaneko S, Sakai K, Kai H, Gomibuchi T, Nagata M, Kobayashi M, Koyama A, Suka M, Radhakrishnan J, Yamagata K. Temporal changes in post-infectious glomerulonephritis in Japan (1976-2009). PLoS One.2016, 11(6): e0157356.
9. Iseki K, Yamagata K. A practical approach of salt and protein restriction for CKD patients in Japan. BMC Nephrology.2016, 17(1):87.
10. Hasegawa K, Tsukamoto K, Kunimi M, Asahi K., Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Fujimoto S, Narita I, Konta T, Kondo M, Kimura K, Ohashi Y, Watanabe T. Control Status of Atherosclerotic Cardiovascular Risk Factors Among Japanese High-Risk Subjects. J Atheroscler Thromb. 2016, 23(8): 991-1003.
11. Hoshino J, Fujii T, Usui J, Fujii T, Ohashi K, Suzuki S, Ubara Y, Yamagata K. Renal outcome after tonsillectomy plus corticosteroid pulse therapy in patients with immunoglobulin A nephropathy: results of a multicenter cohort study. Clin Exp Nephrol.2016, 20(4): 618-627.
12. Ebihara I, Hirayama K, Nagai M, Shiina E, Koda M, Gunji M, Okubo Y, Sato C, Usui J, Yamagata K, Kobayashi M. Angiopietin Balance in Septic Shock Patients with Acute Kidney Injury: Effect of Direct Hemoperfusion with Polymyxin B-Immobilized Fiber.Ther Apher Dial.2016, 20(4): 368-375.
13. Mariani L, Stengel B, Combe C, Massy ZA, Reichel H, Fliser D, Pecoits-Filho R, Lopes AA, Yamagata K, Wada T, Wong MM, Speyer E, Port FK, Pisoni RL, Robinson BM. The CKD

- Outcomes and Practice Patterns Study (CKDopps): Rationale and Methods. *Am J Kidney Dis.* 2016, 68(3): 402-413.
14. Sada KE, Harigai M, Amano K, Atsumi T, Fujimoto S, Yuzawa Y, Takasaki Y, Banno S, Sugihara T, Kobayashi M, Usui J, Yamagata K, Homma S, Dobashi H, Tsuboi N, Ishizu A, Sugiyama H, Okada Y, Arimura Y, Matsuo S, Makino H; for Research Committee of Intractable Vasculitis Syndrome and Research Committee of Intractable Renal Disease of the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan. Comparison of severity classification in Japanese patients with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis in a nationwide, prospective, inception cohort study. *Mod Rheumatol.* 2016, 26(5): 730-737.
 15. Sumida K, Molnar MZ, Potukuchi PK, Thomas F, Lu JL, Matsushita K, Yamagata K, Kalantar-Zadeh K, Kovesdy CP. Constipation and Incident CKD. *J Am Soc Nephrol.* 2016 Nov 10. Date of Electronic Publication: 2016 Nov 10.
 16. Usui J, Yokoyama C, Hagiwara M, Kai H, Kojima T, Yoshino T, Nishiyama H, Hara M, Yamagata K. The detection of urinary podocytes from drug-induced glomerular thrombotic microangiopathy in advanced cancer patients. *Clin Lab.* 2016, 62: 2413-2417.
 17. Kitagawa K, Furuichi K, Sagara A, Shinozaki Y, Kitajima S, Toyama T, Hara A, Iwata Y, Sakai N, Shimizu M, Kaneko S, Wada T; Kanazawa Study Group for Renal Diseases and Hypertension. Risk factors associated with relapse or infectious complications in Japanese patients with microscopic polyangiitis. *Clin Exp Nephrol* 2016,20(5):703-711,
 18. Yamagata K, Makino H, Iseki K, Ito S, Kimura K, Kusano E, Shibata T, Tomita K, Narita I, Nishino T, Fujigaki Y, Mitarai T, Watanabe T, Wada T, Nakamura T, Matsuo S; Study Group for Frontier of Renal Outcome Modifications in Japan (FROM-J). Effect of Behavior Modification on Outcome in Early- to Moderate-Stage Chronic Kidney Disease: A Cluster-Randomized Trial. *PLoS ONE* 2016,11(3):e0151422,
 19. Mariani L, Stengel B, Combe C, Massy ZA, Reichel H, Fliser D, Pecoits-Filho R, Lopes AA, Yamagata K, Wada T, Wong MM, Speyer E, Port FK, Pisoni RL, Robinson BM. The CKD Outcomes and Practice Patterns Study (CKDopps): Rationale and Methods. *Am J Kidney Dis* 2016,68(3):402-413,
 20. Ito Y, Inoue T, Okada H. Successful treatment of C1q nephropathy by Low-Density-Lipoprotein apheresis. *Ther Apher Dial* 2016, 20, 530-531.
 21. Hattori M, (3 名), Okada H, (11 名). Transition of adolescent and young adult patients with childhood-onset chronic kidney disease from pediatric to adult renal services: a nationwide survey in Japan. *Clin Exp Nephrol* 2016, 20, 918-25.
 22. Akimoto T, Yamazaki T, Kusano E, Nagata D: Therapeutic dilemmas regarding anticoagulation: An experience in a patient with nephrotic syndrome, pulmonary embolism, and traumatic brain injury. *Clin Med Insights Case Rep.* 2016;9:103-107

23. Akimoto T, Yamazaki T, Saito O, Muto S, Kusano E, Nagata D: A supraglottic pseudotumor in an immunocompromised patient with nephrotic syndrome, herpes zoster, and a cytomegalovirus infection. *Clin Med Insights Case Rep.* 2016;9:61-65
24. Hirahara I, Kusano E, Morishita Y, Inoue M, Akimoto T, Saito O, Muto S, Nagata D: Matrix metalloproteinase-2 as a superior biomarker for peritoneal deterioration in peritoneal dialysis. *World J Nephrol.* 2016;5:204-212
25. Hishida E, Masuda T, Akimoto T, Sato R, Wakabayashi N, Miki A, Otani N, Imai T, Sugase T, Takeda S, Muto S, Nagata D: Renal failure found during the follow-up of sarcoidosis: The relevance of a delay in the diagnosis of concurrent hypercalcemia. *Intern Med.* 2016;55:1893-1898
26. Kawamata M, Akimoto T, Sugase T, Otani-Takei N, Miki T, Masuda T, Kobayashi T, Takeda S, Muto S, Nagata D: Tubulointerstitial nephritis and uveitis syndrome: Are drugs offenders or bystanders? *Clin Med Insights Case Rep.* 2016;9:21-24
27. Kohara M, Takeda S, Miki T, Ohara K, Yamanaka Y, Kawamata M, Hishida E, Wakabayashi N, Yamazaki T, Ichida M, Akimoto T, Muto S, Nagata D: Development of acute pericarditis associated with new-onset rheumatoid arthritis in a diabetic patient with renal impairment: The elusive nature of uremia. *Intern Med.* 2016;55:955-959
28. Masuda T, Murakami T, Igarashi Y, Okabe K, Kobayashi T, Takeda SI, Saito T, Sekiguchi C, Miyazawa Y, Akimoto T, Saito O, Muto S, Nagata D: Dual impact of tolvaptan on intracellular and extracellular water in chronic kidney disease patients with fluid retention. *Intern Med.* 2016;55:2759-2764
29. Morishita Y, Ookawara S, Hirahara I, Muto S, Nagata D: Hif-1alpha mediates hypoxia-induced epithelial-mesenchymal transition in peritoneal mesothelial cells. *Ren Fail.* 2016;38:282-289
30. Morishita Y, Yoshizawa H, Watanabe M, Imai R, Imai T, Hirahara I, Akimoto T, Ookawara S, Muto S, Nagata D: MicroRNA expression profiling in peritoneal fibrosis. *Transl Res.* 2016;169:47-66
31. Murakami T, Takeda S, Kanazawa H, Ugajin A, Kijima S, Nakamura H, Imai T, Sugase T, Horikoshi R, Kobayashi T, Akimoto T, Saito O, Nagata D: Subclinical growth of an arteriovenous fistula associated with renal biopsy: A case report. *BMC Nephrol.* 2016;17:81
32. Otani-Takei N, Akimoto T, Sadatomo A, Saito O, Muto S, Kusano E, Nagata D: Bowel obstruction and peritoneal dialysis: A case report of a patient with complications from a broad ligament hernia. *Clin Med Insights Case Rep.* 2016;9:57-60
33. Sato R, Akimoto T, Imai T, Nakagawa S, Okada M, Miki A, Takeda S, Yamamoto H, Saito O, Muto S, Kusano E, Nagata D: Minimal change nephrotic syndrome sequentially complicated by acute kidney injury and painful skin ulcers due to calciphylaxis. *Intern Med.* 2016;55:3315-3320
34. Satoh-Asahara N, Ito H, Akashi T, Yamakage H, Kotani K, Nagata D, Nakagome K, Noda M: A patient-held medical record integrating depression care into diabetes care. *Jpn Clin Med.* 2016;7:19-22
35. Sugase T, Akimoto T, Kubo T, Imai T, Otani-Takei N, Miki T, Takeda S, Nukui A, Muto S, Morita

- T, Nagata D: Acute kidney injury associated with renal cell carcinoma complicated by renal vein and inferior vena cava involvement. *Intern Med*. 2016;55:2447-2452
36. Akizawa T, Kurita N, Mizobuchi M, Fukagawa M, Onishi Y, Yamaguchi T, Ellis AR, Fukuma S, Brookhart MA, Hasegawa T, Kurokawa K, Fukuhara S: PTH-dependence of the effectiveness of cinacalcet in hemodialysis patients with secondary hyperparathyroidism. *Sci Rep*, 2016, 6: 19612.
 37. Tanaka M, Miyamura S, Imafuku T, Tominaga Y, Anraku M, Yamasaki K, Kadowaki D, Ishima Y, Watanabe H, Matsushita K, Fukagawa M, Maruyama T: Effect of a ferric citrate formulation, a phosphate binder, on oxidative stress in hemodialysis patients: A pilot study. *Biol Pharm Bull* 2016; 39(6): 1000-1006.
 38. Ishida M, Kakuta T, Miyakogawa T, Tatsumi R, Matsumoto C, Fukagawa M: Association between asymmetric dimethylarginine and pentosidine dialysis effluent of peritoneal dialysis patients: A possible intraperitoneal crosstalk between asymmetric dimethylarginine and advanced glycation end products in peritoneal patients. *Tokai J Exp Clin Med* 2016; 41(2): 97-100.
 39. Kondo M, Toyoda M, Miyatake H, Tanaka E, Koizumi M, Komaba H, Kimura M, Umezono T, Fukagawa M: The prevalence of 25-hydroxyvitamin D deficiency in Japanese patients with diabetic nephropathy. *Intern Med* 2016, 55 (18): 2555-2562.
 40. Matsushita K, Chen J, Sang Y, Ballew SH, Shimazaki R, Fukagawa M, Imai E, Hishida A: Changes in eGFR and subsequent risk of ESRD in Japanese patients with CKD. *Kidney Int* 2016; 90 (5): 1109-1114.
 41. Tanaka M, Yoshida K, Fukuma S, Ito K, Matsushita K, Fukagawa M, Fukuhara S, Akizawa T: Effect of secondary hyperparathyroidism treatment on improvement in anemia: Results from the MBD-5D study. *PLoS One* 2016; 11(10): e0164865.
 42. Kamei K, Konta T, Hirayama A, Ichikawa K, Kubota I, Fujimoto S, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Narita I, Kondo M, Shibagaki Y, Kasahara M, Asahi K, Watanabe T. Associations between serum uric acid levels and the incidence of nonfatal stroke: a nationwide community-based cohort study. *Clin Exp Nephrol*. 2016 Jul 12. [Epub ahead of print]
 43. Wakasugi M, Kazama JJ, Narita I, Iseki K, Fujimoto S, Moriyama T, Yamagata K, Konta T, Tsuruya K, Asahi K, Kondo M, Kurahashi I, Ohashi Y, Kimura K, Watanabe T. Association between overall lifestyle changes and incidence of proteinuria: a population-based, cohort study. *Intern Med* (in press)
 44. Yokoyama H, Narita I, Sugiyama H, Nagata M, Sato H, Ueda Y, Matsuo S. Drug-induced kidney disease: a study of the Japan Renal Biopsy Registry from 2007 to 2015. *Clin Exp Nephrol* 2016; 20: 720-30.
 45. Yamazaki M, Fukusumi Y, Kayaba M, Kitazawa Y, Takamura S, Narita I, Kawachi H. Possible role for glomerular-derived angiotensinogen in nephrotic syndrome. *J Renin Angiotensin Aldosterone Syst* 2016; 17.
 46. Yamamoto S, Narita I, Kotani K. The macrophage and its related cholesterol efflux as a HDL

function index in atherosclerosis. *Clin Chim Acta* 2016; 457: 117-22.

47. Yamamoto S, Ei I, Narita I. [Teriparatide:benefit and safety for bone disease in CKD patients undergoing hemodialysis]. *Clin Calcium* 2016; 26: 1301-7.
48. Watanabe Y, Kitamura K, Nakamura K, Sanpei K, Wakasugi M, Yokoseki A, Onodera O, Ikeuchi T, Kuwano R, Momotsu T, Narita I, Endo N. Elevated C-Reactive Protein Is Associated with Cognitive Decline in Outpatients of a General Hospital: The Project in Sado for Total Health (PROST). *Dement Geriatr Cogn Dis Extra* 2016; 6: 10-9
49. Watanabe Y, Kitamura K, Nakamura K, Sanpei K, Wakasugi M, Yokoseki A, Kabasawa K, Onodera O, Ikeuchi T, Kuwano R, Momotsu T, Narita I, Endo N. Association between dialysis treatment and cognitive decline: A study from the Project in Sado for Total Health (PROST), Japan. *Geriatr Gerontol Int* 2016.
50. Watanabe Y, Kamimura K, Iwasaki T, Abe H, Takahashi S, Mizuno KI, Takeuchi M, Eino A, Narita I, Terai S. Case of severe alcoholic hepatitis treated with granulocytapheresis. *World J Clin Cases* 2016; 4: 369-74.
51. Watanabe H, Goto S, Mori H, Higashi K, Hosomichi K, Aizawa N, Takahashi N, Tsuchida M, Suzuki Y, Yamada T, Horii A, Inoue I, Kurokawa K, Narita I. Comprehensive microbiome analysis of tonsillar crypts in IgA nephropathy. *Nephrol Dial Transplant* 2016.
52. Watanabe H, Goto S, Kondo D, Takata T, Yamazaki H, Hosojima M, Yamamoto S, Kaneko Y, Aoyagi R, Narita I. Comparison of methods of steroid administration combined with tonsillectomy for IgA nephropathy patients. *Clin Exp Nephrol* 2016.
53. Wakasugi M, Kazama JJ, Narita I. Mortality trends among Japanese dialysis patients, 1988-2013: a joinpoint regression analysis. *Nephrol Dial Transplant* 2016; 31: 1501-7.
54. Wakamatsu A, Fukusumi Y, Hasegawa E, Tomita M, Watanabe T, Narita I, Kawachi H. Role of calcineurin (CN) in kidney glomerular podocyte: CN inhibitor ameliorated proteinuria by inhibiting the redistribution of CN at the slit diaphragm. *Physiol Rep* 2016; 4.
55. Usui J, Yamagata K, Imai E, Okuyama H, Kajiyama H, Kanamori H, Kaneko S, Kono E, Sakai Y, Sakai N, Sakamaki Y, Taniguchi Y, Nakai K, Nishiwaki H, Hirata S, Yamaya H, Tsuruoka S, Terada Y, Yokoyama H, Wada T, Narita I. Clinical practice guideline for drug-induced kidney injury in Japan 2016: digest version. *Clin Exp Nephrol* 2016; 20: 827-31.
56. Tanno T, Tomita H, Narita I, Kinjo T, Nishizaki K, Ichikawa H, Kimura Y, Tanaka M, Osanai T, Okumura K. Olmesartan Inhibits Cardiac Hypertrophy in Mice Overexpressing Renin Independently of Blood Pressure: Its Beneficial Effects on ACE2/Ang(1-7)/Mas Axis and NADPH Oxidase Expression. *J Cardiovasc Pharmacol* 2016; 67: 503-9.
57. Sato K, Watanabe S, Ohtsubo A, Shoji S, Ishikawa D, Tanaka T, Nozaki K, Kondo R, Okajima M, Miura S, Tanaka J, Sakagami T, Koya T, Kagamu H, Yoshizawa H, Narita I. Nephrotoxicity of cisplatin combination chemotherapy in thoracic malignancy patients with CKD risk factors. *BMC Cancer* 2016; 16: 222.
58. Sato H, Kondo N, Wada Y, Nakatsue T, Iguchi S, Fujisawa J, Kazama JJ, Kuroda T, Nakano M, Endo N, Narita I. The cumulative incidence of and risk factors for latent beaking in patients

with autoimmune diseases taking long-term glucocorticoids and bisphosphonates. *Osteoporos Int* 2016; 27: 1217-25.

59. Sato H, Kazama JJ, Murasawa A, Otani H, Abe A, Ito S, Ishikawa H, Nakazono K, Kuroda T, Nakano M, Narita I. Serum Fibroblast Growth Factor 23 (FGF23) in Patients with Rheumatoid Arthritis. *Intern Med* 2016; 55: 121-6.
60. Saeki T, Nakajima A, Ito T, Takata T, Imai N, Yoshita K, Kabasawa H, Yamazaki H, Narita I. Tubulointerstitial nephritis and Fanconi syndrome in a patient with primary Sjogren's syndrome accompanied by antimitochondrial antibodies: A case report and review of the literature. *Mod Rheumatol* 2016: 1-4.
61. Saeki T, Kawano M, Mizushima I, Yamamoto M, Wada Y, Ubara Y, Nakashima H, Ito T, Yamazaki H, Narita I, Saito T. Recovery of renal function after glucocorticoid therapy for IgG4-related kidney disease with renal dysfunction. *Clin Exp Nephrol* 2016; 20: 87-93.
62. Mori H, Nishi S, Ueno M, Imai N, Ookawara S, Mirishita Y, Narita I, Tabei K. Pathological interstitial vascular proliferation adjacent to glomeruli in immunoglobulin a nephropathy. *Saudi J Kidney Dis Transpl* 2016; 27: 885-92.
63. Kuwahara S, Hosojima M, Kaneko R, Aoki H, Nakano D, Sasagawa T, Kabasawa H, Kaseda R, Yasukawa R, Ishikawa T, Suzuki A, Sato H, Kageyama S, Tanaka T, Kitamura N, Narita I, Komatsu M, Nishiyama A, Saito A. Megalin-Mediated Tubuloglomerular Alterations in High-Fat Diet-Induced Kidney Disease. *J Am Soc Nephrol* 2016; 27: 1996-2008.
64. Kuroda T, Tanabe N, Nozawa Y, Sato H, Nakatsue T, Kobayashi D, Wada Y, Saeki T, Nakano M, Narita I. Effects of Biologic Agents in Patients with Rheumatoid Arthritis and Amyloidosis Treated with Hemodialysis. *Intern Med* 2016; 55: 2777-83.
65. Kuroda T, Takeuchi H, Nozawa Y, Sato H, Nakatsue T, Wada Y, Moriyama H, Nakano M, Narita I. Acute exacerbation of interstitial pneumonia associated with rheumatoid arthritis during the course of treatment for *Pneumocystis jirovecii* pneumonia: a case report. *BMC Res Notes* 2016; 9: 240.
66. Koda R, Honma M, Suzuki K, Kasai A, Takeda T, Narita I, Yoshida K. Hypotension and Bradycardia Caused by the Inadvertent Ingestion of *Rhododendron japonicum*. *Intern Med* 2016; 55: 839-42.
67. Kobayashi T, Ito S, Kobayashi D, Shimada A, Narita I, Murasawa A, Nakazono K, Yoshie H. Serum Immunoglobulin G Levels to *Porphyromonas gingivalis* Peptidylarginine Deiminase Affect Clinical Response to Biological Disease-Modifying Antirheumatic Drug in Rheumatoid Arthritis. *PLoS One* 2016; 11: e0154182.
68. Kitamura K, Watanabe Y, Nakamura K, Sanpei K, Wakasugi M, Yokoseki A, Onodera O, Ikeuchi T, Kuwano R, Momotsu T, Narita I, Endo N. Modifiable Factors Associated with Cognitive Impairment in 1,143 Japanese Outpatients: The Project in Sado for Total Health (PROST). *Dement Geriatr Cogn Dis Extra* 2016; 6: 341-49.
69. Kaneko Y, Yoshita K, Kono E, Ito Y, Imai N, Yamamoto S, Goto S, Narita I. Extracapillary proliferation and arteriolar hyalinosis are associated with long-term kidney survival in IgA

- nephropathy. *Clin Exp Nephrol* 2016; 20: 569-77.
70. Iwafuchi Y, Oyama Y, Narita I. Heterozygous Fabry disease complicated by acute onset paralysis. *Clin Exp Nephrol* 2016.
 71. Iwafuchi Y, Okamoto K, Oyama Y, Narita I. Posterior Reversible Encephalopathy Syndrome in a Patient with Severe Uremia without Hypertension. *Intern Med* 2016; 55: 63-8.
 72. Iwafuchi Y, Morioka T, Oyama Y, Nozu K, Iijima K, Narita I. A Case of Transforming Growth Factor-beta-Induced Gene-Related Oculorenal Syndrome: Granular Corneal Dystrophy Type II with a Unique Nephropathy. *Case Rep Nephrol Dial* 2016; 6: 106-13.
 73. Iwafuchi Y, Morioka T, Morita T, Yanagihara T, Oyama Y, Morisada N, Iijima K, Narita I. Diverse Renal Phenotypes Observed in a Single Family with a Genetic Mutation in Paired Box Protein 2. *Case Rep Nephrol Dial* 2016; 6: 61-9.
 74. Iwafuchi Y, Morioka T, Morita T, Watanabe K, Oyama Y, Narita I. Nephrotic Syndrome without Hematuria due to Infection-Related Glomerulonephritis Mimicking Minimal-Change Disease in a Child. *Case Rep Nephrol Dial* 2016; 6: 14-20.
 75. Imai E, Maruyama S, Nangaku M, Hirakata H, Hayashi T, Narita I, Kono H, Nakatani E, Morita S, Tsubakihara Y, Akizawa T. Rationale and study design of a randomized controlled trial to assess the effects of maintaining hemoglobin levels using darbepoetin alfa on prevention of development of end-stage kidney disease in non-diabetic CKD patients (PREDICT Trial). *Clin Exp Nephrol* 2016; 20: 71-6.
 76. Horie S, Mochizuki T, Muto S, Hanaoka K, Fukushima Y, Narita I, Nutahara K, Tsuchiya K, Tsuruya K, Kamura K, Nishio S, Suwabe T, Ubara Y, Ishimura E, Nakanishi K, Furukawa K, Kimura K, Matsuo S. Evidence-based clinical practice guidelines for polycystic kidney disease 2014. *Clin Exp Nephrol* 2016; 20: 493-509.
 77. Hori Y, Narita I, Saito A, et al. e. Megalin blockade with cilastatin suppresses drug-induced nephrotoxicity. *J Am Soc Nephrol* 2016; in press.
 78. Goto K, Kaneko Y, Sato Y, Otsuka T, Yamamoto S, Goto S, Yamamoto K, Yamamoto T, Kawachi H, Madaio MP, Narita I. Leptin deficiency down-regulates IL-23 production in glomerular podocytes resulting in an attenuated immune response in nephrotoxic serum nephritis. *Int Immunol* 2016; 28: 197-208.
 79. Tsuchimoto A, Nakano T, Hasegawa S, Masutani K, Matsukuma Y, Eriguchi M, Nagata M, Nishiki T, Kitada H, Tanaka M, Kitazono T, Tsuruya K. The potential role of perivascular lymphatic vessels in preservation of kidney allograft function. *Clin Exp Nephrol*. 2016 Oct 21. [Epub ahead of print]
 80. Tanaka S, Ninomiya T, Fujisaki K, Yoshida H, Nagata M, Masutani K, Tokumoto M, Mitsuiki K, Hirakata H, Fujimi S, Kiyohara Y, Kitazono T, Tsuruya K; Fukuoka Kidney disease Registry (FKR) Study Collaboration Group. The Fukuoka Kidney disease Registry (FKR) study: design and methods. *Clin Exp Nephrol*. 2016 Jun 23. [Epub ahead of print]
 81. Tsuruya K, Uemura Y, Hirakata H, Kitazono T, Tsubakihara Y, Suzuki M, Ohashi Y. Nephrology (Carlton). Association between responsiveness to methoxy polyethylene glycol-epoetin beta and

renal survival in patients with non-dialysis-dependent chronic kidney disease: a pooled analysis of individual patient-level data from clinical trials. 2016 Jun 17. [Epub ahead of print]

82. Masutani K, Tsuchimoto A, Kurihara K, Okabe Y, Kitada H, Okumi M, Tanabe K, Nakamura M, Kitazono T, Tsuruya K; Japan Academic Consortium of Kidney Transplantation (JACK) investigators. Histological analysis in ABO-compatible and incompatible kidney transplantation by performing 3-month and 12-month protocol biopsies. *Transplantation*. 2016 Jul 7. [Epub ahead of print]
83. Sakoh T, Nakayama M, Tsuchihashi T, Yoshitomi R, Tanaka S, Katafuchi E, Fukui A, Shikuwa Y, Kitazono T, Tsuruya K. Associations of fibroblast growth factor 23 with urate metabolism in patients with chronic kidney disease. *Metabolism*. 2016, 65, 1498-507.
84. Yamada S, Tsuruya K, Taniguchi M, Tokumoto M, Fujisaki K, Hirakata H, Fujimi S, Kitazono T. Association between serum phosphate levels and stroke risk in patients undergoing hemodialysis: The Q-Cohort Study. *Stroke*. 2016, 47, 2189-96.
85. Takae K, Nagata M, Hata J, Mukai N, Hirakawa Y, Yoshida D, Kishimoto H, Tsuruya K, Kitazono T, Kiyohara Y, Ninomiya T. Serum uric acid as a risk factor for chronic kidney disease in a Japanese community - The Hisayama Study. *Circ J*. 2016, 80, 1857-62.
86. Tanaka S, Ninomiya T, Taniguchi M, Fujisaki K, Tokumoto M, Hirakata H, Ooboshi H, Kitazono T, Tsuruya K. Comparison of oral versus intravenous vitamin D receptor activator in reducing infection-related mortality in hemodialysis patients: The Q-Cohort Study. *Nephrol Dial Transplant*. 2016, 31, 1152-60.
87. Washio M, Higashi H, Sugawara K, Tsutsumi C, Sakita M, Ide Y, Tsuruya K, Kitazono T, Kondo K, Ide S. Influenza vaccination and other factors related to the development of Influenza-like illness among patients on chronic hemodialysis in a Japanese dialysis facility. *Ther Apher Dial*. 2016, 20, 122-6.
88. Yamada S, Tsuruya K, Yoshida H, Tokumoto M, Ueki K, Ooboshi H, Kitazono T. Factors associated with the serum myostatin level in patients undergoing peritoneal dialysis: potential effects of skeletal muscle mass and vitamin D receptor activator use. *Calcif Tissue Int*. 2016, 99, 13-22.
89. Eriguchi M, Tsuruya K, Yoshida H, Haruyama N, Tanaka S, Tsuchimoto A, Fujisaki K, Torisu K, Masutani K, Kitazono T. Extended swan-neck catheter with upper abdominal exit-site reduces peritoneal dialysis-related infections. *Ther Apher Dial*. 2016, 20, 158-64.
90. Masutani K, Tsuchimoto A, Yamada T, Hirakawa M, Mitsuiki K, Katafuchi R, Hirakata H, Kitazono T, Tsuruya K; West Japan Study Group for Therapy of IgA Nephropathy Investigators. Comparison of steroid-pulse therapy and combined with mizoribine in IgA nephropathy: a randomized controlled trial. *Clin Exp Nephrol*. 2016, 20, 896-903.
91. Tanaka S, Ninomiya T, Katafuchi R, Masutani K, Nagata M, Tsuchimoto A, Hirakata H, Kitazono T, Tsuruya K. C The effect of renin-angiotensin system blockade on the incidence of end-stage renal disease in IgA nephropathy. *lin Exp Nephrol*. 2016, 20, 689-98.

92. Yamada S, Ueki K, Tokumoto M, Suehiro T, Kimura H, Taniguchi M, Fujimi S, Kitazono T, Tsuruya K. Effects of lowering dialysate calcium concentration on mineral and bone disorders in chronic hemodialysis patients: conversion from 3.0 mEq/L to 2.75 mEq/L. *Ther Apher Dial*. 2016, 20, 31-9.
93. Yoshitomi R, Nakayama M, Sakoh T, Fukui A, Shikuwa Y, Tominaga M, Tsuchihashi T, Tsuruya K, Kitazono T. Plasma B-type natriuretic peptide concentration is independently associated with kidney function decline in Japanese patients with chronic kidney disease. *J Hypertens*. 2016, 34, 753-61.
94. Tsuruya K, Yoshida H, Suehiro T, Fujisaki K, Masutani K, Kitazono T. Erythropoiesis-stimulating agent slows the progression of chronic kidney disease: a possibility of a direct action of erythropoietin. *Ren Fail*. 2016, 38, 390-6.
95. Yazawa M, Kido R, Ohira S, Hasegawa T, Hanafusa N, Iseki K, Tsubakihara Y, Shibagaki Y. Early Mortality Was Highly and Strongly Associated with Functional Status in Incident Japanese Hemodialysis Patients: A Cohort Study of the Large National Dialysis Registry. *PLoS One* 2016; 11(6) : eCollection 2016.
96. Imai Naohiko, Shibagaki Yugo, Yazawa Masahiko, Kitajima Kazuki, Nakazawa Ryuto, Sasaki Hideo, Chikaraishi Tatsuya. Follow-up rates of living kidney donor in Japan: A single center study. *Indian J Nephrol*. , 2016; 26(6) : 423-426.
97. Takayuki Adachi, Tsutomu Sakurada, Takanori Otowa, Keita Uehara, Shina Sueki, Shigeki Kojima, Nagayuki Kaneshiro, Katsuomi Matsui, Tadahisa Tomohiro, Yugo Shibagaki. Impact of Vascular Access Intervention Therapy on Cardiac Load in Hemodialysis Patients. *Hemodialysis International* , 2016; 20(51) : 512-516.
98. Hiraki K, Hotta C, Izawa KP, Sakurada T, Shibagaki Y. Dietary protein intake is strongly and positively related with muscle strength in patients with pre-dialysis chronic kidney disease. *Clin Exp Nephrol*. 2017; 21(2): 354-355.
99. Fukuma S, Shimizu S, Niihata K, Sada KE, Yanagita M, Hatta T, Nangaku M, Katafuchi R, Fujita Y, Koizumi J, Koizumi S, Kimura K, Fukuhara S, Shibagaki Y. Development of quality indicators for care of chronic kidney disease in the primary care setting using electronic health data: a RAND-modified Delphi method. *Clinical and Experimental Nephrology* , 2017; 21(2) : 247-256.
100. Naganuma T, Takemoto Y, Iwai T, Kuwabara N, Uchida J, Nakatani T, Kitamura K, Masuda A, Ohmori K, Matsuura M, Nakase H. Effects of Granulocyte and Monocyte Adsorptive Apheresis in Renal Transplantation Recipients With Concomitant Cytomegalovirus Infection. *Transplant Proc*. 2016 Apr; 48(3):929-32. doi: 10.1016/j.transproceed.2015.12.127.
101. Ushigome H, Uchida K, Nishimura K, Akioka K, Fukuda Y, Yuzawa K, Fujisawa M, Sugitani A, Ito SI, Nakatani T, Horimi T, Yoshimura N. Efficacy and Safety of High-Dose Mizoribine Combined With Cyclosporine, Basiliximab, and Corticosteroids in Renal Transplantation: A Japanese Multicenter Study. *Transplant Proc*. 2016 Apr;48(3):794-8. doi: 10.1016/j.transproceed.2015.12.117.

102. Tsuda A, Ishimura E, Uedono H, Yasumoto M, Ichii M, Nakatani S, Mori K, Uchida J, Emoto M, Nakatani T, Inaba M. Comparison of the Estimated Glomerular Filtration Rate (eGFR) in Diabetic Patients, Non-Diabetic Patients and Living Kidney Donors. *Kidney Blood Press Res.* 2016; 41(1):40-7. doi: 10.1159/000368545. Epub 2016 Feb 3
103. Sozo Inoue, Naonori Ueda, Yasunobu Nohara, Naoki Nakashima. Recognizing and Understanding Nursing Activities for a Whole Day with a Big Dataset. *Journal of Information Processing.* 24(6). 853-866. 2016.
104. Kyushu University High-Risk Neonatal Clinical Research Network. Masayuki Ochiai, Yuki Matsushita, Hirosuke Inoue, Takeshi Kusuda, Dongchon Kang, Kiyoshi Ichihara, Naoki Nakashima, Koji Iihara, Shouichi Ohga, Toshiro Hara. Blood Reference Intervals for Preterm Low-Birth-Weight Infants: A Multicenter Cohort Study in Japan. *PLoS One.* 2016.
105. Koji Tanaka, Takeshi Yamada, Takako Torii, Shoji Matsumoto, Takeo Yoshimura, Kei-ichiro Takase, Yoshifumi Wakata, Naoki Nakashima, Jun-ichi Kira, Hiroyuki Murai. Predictive Factors for Excellent or Extremely Poor Functional Outcome in Initial Atrial Fibrillation-Related Cardioembolic Stroke. *European Neurology.* 2016,76(3-4):105-111.
106. Koji Tanaka, Takeshi Yamada, Takako Torii, Shoji Matsumoto, Takeo Yoshimura, Kei-ichiro Takase, Yoshifumi Wakata, Naoki Nakashima, Jun-ichi Kira, Hiroyuki Murai. Clinical Characteristics of Atrial Fibrillation-Related Cardioembolic Stroke in Patients Aged 80years or Older. *Geriatrics & Gerontology International.* 2016, 1-6.
107. Koutarou Matsumoto, Nohara Yasunobu, Yoshifumi Wakata, Takanori Yamashita, Naoki Nakashima. Exploratory Data Analysis of Clinical Pathway for Brain Hemorrhage Using Machine Learning Technique. *The 17th China-Japan-Korea Joint Symposium on Medical Informatics (CJKMI2016) Proceedings.* 2016, 50-53.
108. Naoya Onimura, Takanori Yamashita, Naoki Nakashima, Hidehisa Soejima, Sachio Hirokawa. Generation of Sentence Template Graph from SOAP Format Medical Documents. *Proceedings of CSCI2016. **-**. 2016. (to appear)*
109. Takanori Yamashita, Yoshifumi Wakata, Hidehisa Soejima, Naoki Nakashima, Sachio Hirokawa. Prediction of Key Patient Outcome from Sentence and Word of Medical Text Records. *Proceedings of Clinical Natural Language Processing Workshop at COLING2016.* 2016,86-90.
110. Takanori Yamashita, Yoshifumi Wakata, Hidehisa Soejima, Naoki Nakashima, Sachio Hirokawa. Structuralization of Variance Text Records in Clinical Pathway. *Proceedings of APAMI2016.* 2016,85.
111. Nishi S, Muso E, Shimizu A, Sugiyama H, Yokoyama H, Ando Y, Goto S, Fujii H. A clinical evaluation of renal amyloidosis in the Japan renal biopsy registry: a cross-sectional study. *Clin Exp Nephrol.* 2016 [Epub ahead of print]
112. Ohsaki H, Sofue T, Kawakami K, Nishijima Y, Hara T, Matsunaga T, Kushida Y, Habu R, Shigematsu Y, Irino S and Norimatsu Y. WT1 immunoenzyme staining using SurePath™ processed urine cytology helps detect kidney disease. *Cytopathology* 2016,27, 43-9

113. Kirita Y, Kami D, Ishida R, Adachi T, Tamagaki K, Matoba S, Kusaba T, Gojo S. Preserved Nephrogenesis Following Partial Nephrectomy in Early Neonates. *Sci Rep*. 2016, 6, 26792.
114. Komaki K, Kusaba T, Tanaka M, Kado H, Shiotsu Y, Matsui M, Shiozaki A, Nakano H, Ishikawa T, Fujiwara H, Konishi H, Itoh Y, Matoba S, Tamagaki K. Lower blood pressure and risk of cisplatin nephrotoxicity: a retrospective cohort study. *BMC Cancer*. 2017, 17, 1, 144.
115. Sumida K, Molnar MZ, Potukuchi PK, Thomas F, Lu JL, Obi Y, Rhee CM, Streja E, Yamagata K, Kalantar-Zadeh K, Kovesdy CP. Prognostic significance of pre-end-stage renal disease serum alkaline phosphatase for post-end-stage renal disease mortality in late-stage chronic kidney disease patients transitioning to dialysis. *Nephrology, Dialysis, Transplantation*. 2017, Date of Electronic Publication: 2017 Jan 07.
116. Iseki K, Asahi K, Yamagata K, Fujimoto S, Tsuruya K, Narita I, Konta T, Kasahara M, Shibagaki Y, Yoshida H, Moriyama T, Kondo M, Iseki C, Watanabe T, “Design of the comprehensive health care system for chronic kidney disease (CKD) based on the individual risk assessment by Specific Health Check”. Mortality risk among screened subjects of the specific health check and guidance program in Japan 2008-2012. *Clin Exp Nephrol*. 2017, Date of Electronic Publication: 2017 Mar 3.
117. Matsumoto A, Nagasawa Y, Yamamoto R, Shinzawa M, Hasuike Y, Kuragano T, Isaka Y, Nakanishi T, Iseki K, Yamagata K, Tsuruya K, Yoshida H, Fujimoto S, Asahi K, Moriyama T, Watanabe T. The association of alcohol and smoking with CKD in a Japanese nationwide cross-sectional survey. *Hypertens Res*. 2017, Date of Electronic Publication: 2017 Mar 9.
118. Sumida K, Molnar MZ, Potukuchi PK, Thomas F, Lu JL, Ravel VA, Soohoo M, Rhee CM, Streja E, Sim JJ, Yamagata K, Kalantar-Zadeh K, Kovesdy CP. Blood Pressure Before Initiation of Maintenance Dialysis and Subsequent Mortality. *Am J Kidney Dis*. 2017, Date of Electronic Publication: 2017 Mar 10.
119. Igarashi Y, Morishita Y, Yoshizawa H, Imai R, Imai T, Hirahara I, Akimoto T, Ookawara S, Ishibashi K, Muto S, Nagata D: The association between soluble intercellular adhesion molecule-1 levels in drained dialysate and peritoneal injury in peritoneal dialysis. *Ren Fail*. 2017;39:392-399
120. Yokoyama K, Kurita N, Fukuma S, Akizawa T, Fukagawa M, Onishi Y, Kurokawa K, Fukuhara S: Frequent monitoring of mineral metabolism in hemodialysis patients with secondary hyperparathyroidism: associations with achievement of treatment goals and with adjustments in therapy. *Nephrol Dial Transplant* 2017; 32(3): 534-541.
121. Yamamoto S, Narita I, al. e. Adsorption of Protein-Bound Uremic Toxins through Direct Hemoperfusion with Hexadecyl-Immobilized Cellulose Beads in Patients Undergoing Hemodialysis. *Artificial Organs* 2017; in press.
122. Tasaki M, Saito K, Nakagawa Y, Imai N, Ito Y, Aoki T, Kamimura M, Narita I, Tomita Y, Takahashi K. Acquired Downregulation of Donor-Specific Antibody Production After ABO-Incompatible Kidney Transplantation. *Am J Transplant* 2017; 17: 115-28.

123. Sato Y, Kaneko Y, Cho T, Goto K, Otsuka T, Yamamoto S, Goto S, Maruyama H, Narita I. Prolactin up-regulates female-predominant Cyp gene expressions and down-regulates male-predominant gene expressions in mice liver. *Drug Metab Dispos* 2017.
124. Iwafuchi Y, Saito I, Narita I. Efficacy and Safety of Osimertinib in a Hemodialysis Patient With Advanced Non-Small Cell Lung Cancer. *Ther Apher Dial* 2017.
125. Hughes DA, Nicholls K, Shankar SP, Sunder-Plassmann G, Koeller D, Nedd K, Vockley G, Hamazaki T, Lachmann R, Ohashi T, Olivotto I, Sakai N, Deegan P, Dimmock D, Eyskens F, Germain DP, Goker-Alpan O, Hachulla E, Jovanovic A, Lourenco CM, Narita I, Thomas M, Wilcox WR, Bichet DG, Schiffmann R, Ludington E, Viereck C, Kirk J, Yu J, Johnson F, Boudes P, Benjamin ER, Lockhart DJ, Barlow C, Skuban N, Castelli JP, Barth J, Feldt-Rasmussen U. Oral pharmacological chaperone migalastat compared with enzyme replacement therapy in Fabry disease: 18-month results from the randomised phase III ATTRACT study. *J Med Genet* 2017; 54: 288-96.
126. Hori Y, Aoki N, Kuwahara S, Hosojima M, Kaseda R, Goto S, Iida T, De S, Kabasawa H, Kaneko R, Aoki H, Tanabe Y, Kagamu H, Narita I, Kikuchi T, Saito A. Megalin Blockade with Cilastatin Suppresses Drug-Induced Nephrotoxicity. *J Am Soc Nephrol* 2017.
127. De S, Kuwahara S, Hosojima M, Ishikawa T, Kaseda R, Sarkar P, Yoshioka Y, Kabasawa H, Iida T, Goto S, Toba K, Higuchi Y, Suzuki Y, Hara M, Kurosawa H, Narita I, Hirayama Y, Ochiya T, Saito A. Exocytosis-Mediated Urinary Full-Length Megalin Excretion is Linked with the Pathogenesis of Diabetic Nephropathy. *Diabetes* 2017.
128. Yotsueda R, Taniguchi M, Tanaka S, Eriguchi M, Fujisaki K, Torisu K, Masutani K, Hirakata H, Kitazono T, Tsuruya K. Cardiothoracic ratio and all-cause mortality and cardiovascular disease events in hemodialysis patients: The Q-Cohort Study. *Am J Kidney Dis*, 2017 Feb 10. [Epub ahead of print]
129. Nagae H, Tsuchimoto A, Tsuruya K, Kawahara S, Shimomura Y, Noguchi H, Masutani K, Katafuchi R, Kitazono T. Clinicopathological significance of monoclonal IgA deposition in patients with IgA nephropathy. *Clin Exp Nephrol*. 2017, 21, 266-74.
130. Matsukuma Y, Masutani K, Tanaka S, Tsuchimoto A, Fujisaki K, Torisu K, Katafuchi R, Hirakata H, Tsuruya K, Kitazono T. A J-shaped association of serum uric acid level with poor renal survival in female patients with IgA nephropathy. *Hypertens Res*. 2017, 40, 291-7.
131. Yamada S, Tsuruya K, Tokumoto M, Yoshida H, Tatsumoto N, Ooboshi H, Kitazono T. Total phosphate elimination is negatively associated with increased serum FGF23 levels in patients who undergo peritoneal dialysis. *Ther Apher Dial*. 2017, 21, 71-8.
132. Oka H, Yamada S, Kamimura T, Hara M, Hirashima Y, Matsueda S, Shukuri T, Aihara S, Koresawa M, Eriguchi M, Harada A, Tsuruya K, Kitazono T. Modified simple peritoneal wall anchor technique (PWAT) in peritoneal dialysis. *Perit Dial Int*. 2017, 37, 103-8.
133. Ono A, Inoue T, Tomori K, Okada H. Page kidney following renal biopsy. *Intern Med* (in press)

(2) 学会・シンポジウム等における口頭・ポスター発表

1. 当院における腎臓内科コンサルテーションの実態, ポスター発表, 永井 恵, 萩原正大, 甲斐平康, 森戸直記, 臼井丈一, 斎藤知栄, 山縣邦弘, 第 113 回日本内科学会, 2016/4/15, 国内.
2. 食事指導の要点, 口演, 山縣邦弘, 第 18 回国際腎と栄養代謝学会 CKD 教育療法セッション, 2016/4/20, 国内.
3. Behavior Modification and Renal Outcomes in CKD Patients FROM-J 5-years Follow-up Study, 口演, Kunihiro Yamagata, Hirofumi Makino, Kunitoshi Iseki, Sadayoshi Ito, Kenjiro Kimura, Eiji Kusano, Takanori Shibata, Kimio Tomita, Ichiei Narita, Tomoya Nishino, Yoshihide Fujigaki, Tetsuya Mitarai, Tsuyoshi Watanabe, Takashi Wada, Teiji Nakamura, Seiichi Matsuo, 第 18 回国際腎と栄養代謝学会, 2016/4/20, 国内.
4. Accuracy of Dietary Nutrient Intake Assessment in Maintenance Hemodialysis Patients, 口演, Sachiko Nagahama, Chie Saito, Hideto Takahashi, Takahiro Seura, Sumiko Higure, Tsutomu Nakanishi, Kunihiro Yamagata, 第 18 回国際腎と栄養代謝学会, 2016/4/20, 国内.
5. Behavior Change in Lifestyle by Counseling in CKD Patients, ポスター発表, Chie Saito, Hirayasu Kai, Hiroko Iwabe, Yuichi Ishikawa, Atsushi Ueda, Kunihiro Yamagata, 第 18 回国際腎と栄養代謝学会, 2016/4/20, 国内.
6. Number of Dietitians is Associated with Regional Differences in Achieving Guidelines for CKD-MBD and Renal Anemia in Chronic Dialysis Patients, ポスター発表, Satoshi Ogata, Kunihiro Yamagata Kunitoshi Iseki, Yoshiharu Tsubakihara, Ikuto Masakane, 第 18 回国際腎と栄養代謝学会, 2016/4/20, 国内.
7. Advantages of Nutrition Counseling in CKD Patients by a Professional Dietician in a Clinic, ポスター発表, Yuichi Ishikawa, Atsushi Ueda, Yukie Nakagawa, Chie Saito, Kunihiro Yamagata, 第 18 回国際腎と栄養代謝学会, 2016/4/20, 国内.
8. 前向きコホート研究 RemIT-JAV-RPGN における抗好中球細胞質抗体(ANCA)関連血管炎の寛解に関する検討, 口演, 佐田憲映, 針谷正祥, 臼井丈一, 山縣邦弘, 本間 栄, 土橋浩章, 石津 明洋, 杉山 斉, 岡田保典, 有村義宏, 榎野博史, 第 60 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2016/4/21, 国内.
9. 心筋症, 腎不全を呈したミトコンドリア DNA 点突然変異 A3243G を有するミトコンドリア病の一例, ポスター発表, 坂下麻衣, 坂下信悟, 上杉憲子, 萩原正大, 山縣邦弘, 野口雅之, 第 105 回日本病理学会, 2016/5/14, 国内.
10. EVALUATION OF THE VALIDITY FOR THE NOVEL CKD ASSESSMENT CHECK-LIST BY THE FRONTIER OF RENAL OUTCOME MODIFICATIONS IN JAPAN (FROM-J) STUDY, ポスター発表, Hirayasu Kai, Mariko Doi, Chie Saito, Kunihiro Yamagata, 53rd ERA-EDTA Congress, 2016/5/21, 国外.
11. MAFB MUTANT SHOWS PODOCYTE INJURY WITH AGING, ポスター発表, Naoki Morito, Toshiaki Usui, Keigyou Yoh, Satoru Takahashi, Kunihiro Yamagata, 53rd ERA-EDTA Congress, 2016/5/22, 国外.

12. HISTAMINE IS INVOLVED IN THE PATHOPHYSIOLOGY OF HEART AND KIDNEY DYSFUNCTIONS IN MICE, ポスター発表, Kazuyuki Noguchi, Junji Ishida, Tomohiro Ishimaru, Shohei Kawasaki, Chulwon Kwon, Jun-Dal Kim, Koichiro Kako, Hiroshi Ohtsu, Kunihiro Yamagata, Akiyoshi Fukamizu, 53rd ERA-EDTA Congress, 2016/5/22, 国外.
13. Regional differences in chronic kidney disease prevalence and incident dialysis in Japan: a Japanese nationwide health check study. Poster, Yasuda Y, Kamiya M, Nakatochi M, Nakai S, Shibata K, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Yoshida H, Fujimoto S, Asahi K, Watanabe T, Maruyama S. 53rd ERA-EDTA Congress, 2016/5/23, 国外.
14. The association between serum uric acid and incidence of non-fatal stroke in the CKD population. Poster, Kamei K, Araumi A, Watanabe S, Sato H, Ichikawa K, Konta K, Iseki K, Yamagata K, Fujimoto S, Tsuruya K, Narita I, Moriyama T, Shibagaki Y, Asahi K, Kondo M, Kasahara M, Watanabe T. 53rd ERA-EDTA Congress, 2016/5/23, 国外.
15. THE RELATIONSHIP BETWEEN CARDIOVASCULAR MORTALITY AND GLOMERULAR FILTRATION RATE IN A JAPANESE COHORT WITH LONG TERM FOLLOWUP,ポスター発表, Kei Nagai, Toshimi Sairenichi, Fujiko Irie, Hiroshi Watanabe, Hitoshi Ota, Kunihiro Yamagata, 53rd ERA-EDTA Congress, 2016/5/22, 国外.
16. EXPECTED RISK OF DEATH BY CKD STAGE USING STOCHASTIC LINKAGE BETWEEN DEATH CERTIFICATES AND THE SPECIFIC HEALTH CHECK PROGRAMME COHORT IN JAPAN, ポスター発表, Masahide Kondo, Mariko Yamamura, Chiho Iseki, Kunitoshi Iseki, Koichi Asahi, Kunihiro Yamagata, Shouichi Fujimoto, Kazuhiko Tsuruya, Toshiki Moriyama, Ichiei Narita, Tsuneo Konta, Yugo Shibagaki, Masato Kasahara1, Tsuyoshi Watanabe, 53rd ERA-EDTA Congress, 2016/5/22, 国外.
17. 多発血管炎性肉芽腫症透析患者におけるリツキシマブの血中濃度および透析性の検討, ポスター発表, 坂井健太郎, 飯塚 正, 篠崎有希, 山縣邦弘, 第 61 回日本透析医学会学術集会・総会, 2016/6/10, 国内.
18. ANCA 関連腎炎に合併する貧血への治療介入に関する検討, ポスター発表, 河村哲也, 臼井丈一, 西久保愛里, 渡邊めぐみ, 田原 敬, 角田亮也, 岩瀬茉未子, 永井 恵, 甲斐平康, 萩原正大, 森戸直記, 齋藤知栄, 山縣邦弘, 金子修三. 第 61 回日本透析医学会学術集会・総会, 2016/6/10, 国内.
19. 維持血液透析中に腎血管筋脂肪腫の出血をきたし, 腎動脈塞栓術後に膿瘍を合併した結節性硬化症の一例, 口演, 清水達也, 佐久間亜季, 植田敦志, 齋藤知栄, 臼井丈一, 山縣邦弘, 第 61 回日本透析医学会学術集会・総会, 2016/6/10, 国内.
20. 広範な硬膜外膿瘍を伴う化膿性脊椎炎を発症し, 8 ヶ月の抗菌薬投与により改善を認めた維持透析患者の 1 例, 口演, 田原 敬, 萩原正大, 渡邊めぐみ, 角田亮也, 岩瀬茉未子, 永井 恵, 甲斐平康, 森戸直記, 齋藤知栄, 臼井丈一, 山縣邦弘, 第 61 回日本透析医学会学術集会・総会, 2016/6/10, 国内.
21. PD カテーテル抜去時期の検討, 口演, 齋藤知栄, 岩瀬茉未子, 角田亮也, 田原 敬, 渡邊めぐみ, 永井 恵, 河村哲也, 萩原正大, 甲斐平康, 森戸直記, 臼井丈一, 山縣邦弘, 第 61 回日本透析医学会学術集会・総会, 2016/6/10, 国内.

22. 本邦小児腎代替療法の現状と国際比較，口演，伊丹儀友，芦田 明，平野大志，佐古まゆみ，服部元史，山縣邦弘，猪阪善隆，第 61 回日本透析医学会学術集会・総会，2016/6/11，国内。
23. メトトレキサート中毒に対する血液浄化療法の検討，口演，持地貴博，岩田修一，檜木洋平，古垣達也，名倉正明，赤星博和，茂木芳賢，縮 恭一，山本純偉，萩原正大，斎藤知栄，山縣邦弘，第 61 回日本透析医学会学術集会・総会，2016/6/11，国内。
24. 透析患者におけるエポエチン β ペゴル(CERA)からダルベポエチン α(DA)への切り替えの経験，ポスター発表，斑目 旬，小林徳朗，石井龍太，臼井俊明，富樫 周，藤田亜紀子，下畑 誉，山縣邦弘，第 61 回日本透析医学会学術集会・総会，2016/6/11，国内。
25. 当院で施行したカフ型カテーテルを用いた維持透析患者の予後調査，口演，加瀬田幸司，石井龍太，佐久間亜季，高田健治，萩原正大，臼井丈一，斎藤知栄，山縣邦弘，第 61 回日本透析医学会学術集会・総会，2016/6/11，国内。
26. 二次性副甲状腺機能亢進症治療ガイドライン達成率の地域差と透析スタッフ数との関連，ポスター発表，尾形 聡，山縣邦弘，井関邦敏，椿原美治，政金生人，第 61 回日本透析医学会学術集会・総会，2016/6/11，国内。
27. よくわかる PD-HD ハイブリット療法，口演，植田敦志，臼井丈一，斎藤知栄，山縣邦弘，第 61 回日本透析医学会学術集会・総会，2016/6/11，国内。
28. 本邦の成人腎代替療法の概要，口演，山縣邦弘，西慎一，仲谷達也，中島 直樹，第 61 回日本透析医学会学術集会・総会，2016/6/11，国内。
29. 腎臓学会と透析医学会のレジストリーの連携における課題，口演，横山 仁，杉山 斉，佐藤 博，山縣邦弘，第 61 回日本透析医学会学術集会・総会，2016/6/12，国内。
30. ネコの関与が疑われた腹膜透析関連腹膜炎に訪問指導を行った一例，口演，佐久間亜季，清水達也，植田敦志，斎藤知栄，臼井丈一，山縣邦弘，第 61 回日本透析医学会学術集会・総会，2016/6/12，国内。
31. 腎性貧血治療ガイドライン達成率の地域差と透析スタッフ数との関連，ポスター発表，尾形 聡，山縣邦弘，井関邦敏，椿原美治，政金生人，第 61 回日本透析医学会学術集会・総会，2016/6/12，国内。
32. 慢性腎臓疾患（CKD）有病者数の地域差は透析導入患者数に関連する，口演，安田宜成，神谷真有美，中枿昌弘，井関邦敏，守山敏樹，山縣邦弘，鶴屋和彦，吉田英昭，藤元昭一，旭 浩一，渡辺 毅，中井 滋，丸山彰一，第 61 回日本透析医学会学術集会・総会，2016/6/12，国内。
33. 大量ステロイド投与中に血栓性微小血管障害（TMA）を呈し，頻回の血漿交換（PE）の併用が有効であった SLE の一例，口演，中島雅美，小山哲夫，茂木誠司，林 太智，角田亮也，清水達也，山縣邦弘，第 61 回日本透析医学会学術集会・総会，2016/6/12，国内。
34. 慢性腎臓病の進行を促進する薬剤等による腎障害の早期診断法と治療法の開発，口頭，成田一衛，斎藤亮彦，横山 仁，山縣邦弘，寺田典生，和田隆志，第 59 回日本腎臓学会学術総会，2016/6/17，国内。
35. 慢性腎臓病（CKD）進行例の実態把握と透析導入回避のための有効な指針の作成に関する研究，口演，山縣邦弘，第 59 回日本腎臓学会学術総会，2016/6/17，国内。
36. ANCA 関連腎炎に合併する貧血の背景因子の臨床病理学的検討，ポスター発表，河村哲也，臼井丈一，西久保愛里，渡邊めぐみ，田原 敬，角田亮也，岩瀬茉未子，永井 恵，甲斐平康，萩原

- 正大, 森戸直記, 齋藤知栄, 山縣邦弘, 金子修三, 第 59 回日本腎臓学会学術総会, 2016/6/17, 国内.
37. MPO-ANCA 関連腎血管炎における末梢血 $\gamma\delta T$ 細胞の検討, ポスター発表, 平山浩一, 小山哲夫, 永井 恵, 長井美穂, 下畑 誉, 甲斐平康, 臼井丈一, 小林正貴, 山縣邦弘, 第 59 回日本腎臓学会学術総会, 2016/6/17, 国内.
 38. CKD と悪性疾患死亡率の検討: 茨城県コホート長期追跡結果より, ポスター発表, 永井 恵, 西連地利巳, 入江ふじこ, 渡辺 宏, 太田仁史, 山縣邦弘, 第 59 回日本腎臓学会学術総会, 2016/6/17, 国内.
 39. CKD 有病者数と透析導入患者数地域差の検討, 口演, 神谷真有美, 安田宜成, 中枿昌弘, 柴田清, 柴田佳菜子, 井関邦敏, 守山敏樹, 山縣邦弘, 鶴屋和彦, 吉田英昭, 藤元昭一, 旭 浩一, 渡辺 毅, 中井 滋, 丸山彰一, 第 59 回日本腎臓学会学術総会, 2016/6/17, 国内.
 40. 薬剤性腎障害 GL オーバービュー, 口演, 臼井丈一, 山縣邦弘, 第 59 回日本腎臓学会学術総会, 2016/6/18, 国内.
 41. 半月体形成性腎炎, RPGN の診断と治療, 口演, 山縣邦弘, 第 59 回日本腎臓学会学術総会, 2016/6/18, 国内.
 42. 転写因子 Mafb による副甲状腺ホルモンの制御, 口演, 森戸直記, 臼井俊明, 藤田亜紀子, 楊景堯, 山縣邦弘, 第 59 回日本腎臓学会学術総会, 2016/6/18, 国内.
 43. CKD 患者に対する生活食事指導マニュアルの有用性について, 口演, 石川祐一, 植田敦志, 鈴木薫子, 安部訓子, 中川幸恵, 齋藤知栄, 山縣邦弘, 第 59 回日本腎臓学会学術総会, 2016/6/18, 国内.
 44. 腎機能正常例では 2 年以内, 腎機能低下例では 1 年以内の蛋白尿寛解が IgA 腎症の良好な腎予後の予測因子である, 口演, 藤井隆之, 星野純一, 臼井丈一, 鈴木理志, 乳原善文, 山縣邦弘, 第 59 回日本腎臓学会学術総会, 2016/6/18, 国内.
 45. 常染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKD)コホート形成とトルバプタン治療例の検討, ポスター発表, 甲斐平康, 渡邊めぐみ, 田原 敬, 角田亮也, 岩瀬茉未子, 永井 恵, 河村哲也, 萩原正大, 森戸直記, 臼井丈一, 齋藤知栄, 山縣邦弘, 第 59 回日本腎臓学会学術総会, 2016/6/19, 国内.
 46. ライフステージと腎移植~当院の生体腎移植 17 例から腎移植のタイミングについて考える~, 口演, 高野恵輔, 臼井丈一, 金子修三, 木村友和, 田村恵美, 西山博之, 山縣邦弘, 大河内信弘, 第 60 回茨城腎研究会, 2016/7/5, 国内.
 47. 若年発症の顕微鏡的多発血管炎で寛解を得た一例, 口頭, 渡邊めぐみ, 佐久間亜季, 植田敦志, 石井龍太, 齋藤知栄, 臼井丈一, 山縣邦弘. 第 60 回茨城腎研究会, 2016/7/5, 国内.
 48. 抗てんかん薬服用中, 腹膜透析から血液透析への以降により意識障害が改善した一例, 口頭, 角田亮也, 西久保愛里, 清水達也, 永井 恵, 藤田亜紀子, 河村哲也, 金子修三, 甲斐平康, 森戸直記, 臼井丈一, 齋藤知栄, 山縣邦弘, 第 60 回茨城腎研究会, 2016/7/5, 国内.
 49. ANCA 関連血管炎と TNFSF4 多型の関連, ポスター発表, 岩橋優花, 川崎 綾, 平野史生, 岡 笑美, 古川 宏, 佐田憲映, 小林茂人, 山田秀裕, 山縣邦弘, 住田孝之, 宮坂信之, 當間重人, 尾崎承一, 松尾清一, 橋本博史, 楨野博史, 有村義宏, 針谷正祥, 土屋尚之, 第 44 回日本臨床免疫学会総会, 2016/9/9, 国内.

50. 日本人集団における ANCA 関連血管炎と HLA-G 3'非翻訳領域多型の関連, ポスター発表, 横山望, 川崎 綾, 八谷有紀, 平野史生, 佐田憲映, 小林茂人, 山田秀裕, 古川 宏, 山縣邦弘, 住田孝之, 宮坂信之, 當間重人, 尾崎承一, 松尾清一, 橋本博史, 槇野博史, 有村義宏, 針谷正祥, 土屋尚之, 第 44 回日本臨床免疫学会総会, 2016/9/9, 国内.
51. Clinicopathological analysis of anemia in patients with ANCA-associated renal vasculitis, ポスター発表, Kawamura T, Usui J, Kaneko S, Nagai K, Fujita A, Kai H, Morito N, Saito C, Yamagata K, 15th Asian Pacific Congress of Nephrology & 52th Australian and New Zealand Society of Nephrology ASM (APCN/ANZSN ASM), 2016/9/18, 国外.
52. ペット関連腹膜炎患者への訪問指導および当院 PD 患者のペット飼育状況, ポスター発表, 佐久間亜季, 渡邊めぐみ, 植田敦志, 清水達也, 斎藤知栄, 臼井丈一, 山縣邦弘, 第 22 回日本腹膜透析医学会学術集会・総会, 2016/9/24, 国内.
53. PD から HD への移行に伴い意識障害の改善を認めた,フェニトインおよびバルプロ酸服用中の 1 例, ポスター発表, 角田 亮也, 斎藤知栄, 永井 恵, 河村哲也, 藤田亜紀子, 金子修三, 甲斐平康, 森戸直記, 臼井丈一, 山縣邦弘, 第 22 回日本腹膜透析医学会学術集会・総会, 2016/9/24, 国内.
54. 導入初期からの併用療法, 口演, 植田敦志, 臼井丈一, 斎藤知栄, 山縣邦弘, 第 22 回日本腹膜透析医学会学術集会・総会, 2016/9/24, 国内.
55. 高血圧を合併した常染色体優性多発性のう胞腎(ADPKD)の臨床背景とトルバプタン治療介入前後の血圧変動に関する検討, 口演, 清水達也, 甲斐平康, 西久保愛里, 角田亮也, 永井 恵, 河村哲也, 藤田亜紀子, 金子修三, 森戸直記, 臼井丈一, 斎藤知栄, 山縣邦弘, 第 39 回日本高血圧学会, 2016/10/2, 国内.
56. 当科の ANCA 関連腎炎における間質性肺炎, 口演, 角田亮也, 西久保愛里, 清水達也, 永井 恵, 金子修三, 甲斐平康, 森戸直記, 臼井丈一, 斎藤知栄, 山縣邦弘, 上杉憲子, 長田道夫, 第 46 回日本腎臓学会東部会, 2016/10/7, 国内.
57. ステロイドおよび血漿交換療法にて末期腎不全からの改善を認めた抗糸球体基底膜腎炎の一例, ポスター発表, 渡邊めぐみ, 佐久間亜季, 植田敦志, 坂田晃子, 斎藤知栄, 臼井丈一, 山縣邦弘, 第 46 回日本腎臓学会東部学術集会, 2016/10/7, 国内.
58. ステロイド非使用の IVC y 単独で寛解が得られた糖尿病合併高齢者の膜性腎症, ポスター発表, 石井龍太, 椎名映里, 国府田恵, 郡司真誠, 佐藤ちひろ, 海老原至, 篠崎有希, 中島雅美, 臼井丈一, 山縣邦弘, 第 46 回日本腎臓学会東部学術集会, 2016/10/7, 国内.
59. ANCA 関連血管炎に対する免疫抑制療法中に多巣性進行性白質脳症を発症した一例, ポスター発表, 田原 敬, 甲斐平康, 角田亮也, 岩瀬茉美子, 森山憲明, 永井 恵, 河村哲也, 藤田亜紀子, 金子修三, 森戸直記, 斎藤知栄, 臼井丈一, 山縣邦弘, 第 46 回日本腎臓学会東部学術集会, 2016/10/7, 国内.
60. 診断に苦慮した間質障害主体の ANCA 関連腎炎の一例, ポスター発表, 佐久間亜季, 渡邊めぐみ, 植田敦志, 清水達也, 斎藤知栄, 臼井丈一, 山縣邦弘, 第 46 回日本腎臓学会東部学術集会, 2016/10/7, 国内.

61. 肺胞出血を伴う劇症型 IgA 血管炎の一例，口演，西久保愛里，森山憲明，田原 敬，堀越亮子，日野雅代，小林弘明，臼井丈一，山縣邦弘，第 46 回日本腎臓学会東部学術集会，2016/10/8，国内。
62. 一卵性双生児間で IgA 腎症と IgA 血管炎を発症した一例，口演，鈴木 創，神田やすか，齋藤彩香，大石 学，形山憲誠，小泉博史，並木真生，臼井丈一，山縣邦弘，第 46 回日本腎臓学会東部学術集会，2016/10/8，国内。
63. エタネルセプト投与中にループス腎炎が顕在化した一例，口演，清水達也，渡邊めぐみ，佐久間亜季，植田敦志，齋藤知栄，臼井丈一，山縣邦弘，第 46 回日本腎臓学会東部学術集会，2016/10/8，国内。
64. 他の血管炎や MRSA 腎炎と鑑別を要した Henoch-Schönlein purpura 腎炎の一例，ポスター発表，塩入瑛梨子，中村太一，錦 健太，臼井丈一，山縣邦弘，第 46 回日本腎臓学会東部学術集会，2016/10/8，国内。
65. CKD 重症化予防に対する生活食事指導マニュアルの有用性について，口演，中山真由美，石川裕一，植田敦志，齋藤知栄，山縣邦弘，第 50 回茨城人工透析談話会，2016/11/13，国内。
66. Sustained Low Efficiency Dialysis の治療効果，口演，持地貴博，高瀬弘樹，上野浩明，河原仁美，古垣達也，名倉正明，縮 恭一，山本純偉，西久保愛里，清水達也，角田亮也，永井恵，河村哲也，藤田亜紀子，金子修三，甲斐平康，森戸直記，臼井丈一，齋藤知栄，山縣邦弘，第 50 回茨城人工透析談話会，2016/11/13，国内。
67. 子宮全摘術時に自己血輸血を施行した維持透析患者の一例，口演，西久保愛里，渡邊めぐみ，清水達也，角田亮也，河村哲也，永井 恵，藤田亜紀子，金子修三，甲斐平康，森戸直記，臼井丈一，齋藤知栄，山縣邦弘，第 50 回茨城人工透析談話会，2016/11/13，国内。
68. ポリスルホン膜 (PS) アレルギーが考えられた血液透析導入患者の 1 例，ポスター発表，高瀬弘樹，名倉正明，河原仁美，持地貴博，上野浩明，古垣達也，縮 恭一，山本純偉，西久保愛里，清水達也，角田亮也，永井 恵，河村哲也，藤田亜紀子，金子修三，甲斐平康，森戸直記，臼井丈一，齋藤知栄，山縣邦弘，第 50 回茨城人工透析談話会，2016/11/13，国内。
69. ANCA 関連腎炎とアフエレンシス (LCAP GCAP) ，口演，臼井丈一，山縣邦弘，第 37 回日本アフエレンシス学会学術大会，2016/11/26，国内。
70. 単純血漿交換が有効であった成人スティル病(adult-onset Still's disease:ASD)に 合併した血栓性微小血管症の 1 例，口演，清水達也，金子修三，臼井丈一，西久保愛里，角田亮也，河村哲也，永井 恵，藤田亜紀子，甲斐平康，森戸直記，齋藤知栄，近藤裕也，住田孝之，山縣邦弘，第 37 回日本アフエレンシス学会学術大会，2016/11/27，国内。
71. ミトコンドリア病マウスモデルの腎病変の解析，口演，清水達也，萩原正大，臼井丈一，金子修三，山縣邦弘，中田和人，林 純一，第 7 回腎不全研究会，2016/12/10，国内。
72. 転写因子 Mafb は糸球体上皮細胞の維持に必須である，口演，臼井俊明，森戸直記，濱田理人，臼井丈一，高橋 智，山縣邦弘，Advans 研究会 2016，2016/12/10，国内。
73. 特定健診データベースからみた高尿酸血症の頻度と関連因子，今田恒夫，亀井啓太，守山敏樹，柴垣有吾，笠原正登，成田一衛，藤元昭一，井関邦敏，山縣邦弘，鶴屋和彦，近藤正英，旭 浩一，渡辺毅，第 5 回日本痛風・核酸代謝学会総会，2017/2/16，国内。

74. 保存期慢性腎臓病(CKD)患者における骨格筋の質的低下の検証, 口演, 塩見耕平, 斎藤知栄, 永井 恵, 加藤 穰, 河村哲也, 金子修三, 甲斐平康, 森戸直記, 臼井丈一, 柳 久子, 山縣邦弘, 第7回日本腎臓リハビリテーション学会, 2017/2/18, 国内.
75. 新規 CKD チェックリストを用いた生活・食事指導の妥当性に関する検討, 口演, 甲斐平康, 斎藤知栄, 岩部博子, 渡邊めぐみ, 清水達也, 石井龍太, 藤田亜紀子, 永井 恵, 河村哲也, 金子修三, 森戸直記, 臼井丈一, 山縣邦弘, 第7回日本腎臓リハビリテーション学会, 2017/2/18, 国内.
76. 慢性腎臓病進行抑制のため自宅での下肢電気刺激療法を試みた 1 症例, ポスター発表, 三浦美佐, 斎藤知栄, 平山 暁, 伊藤 修, 山縣邦弘, 上月正博, 第7回日本腎臓リハビリテーション学会, 2017/2/18, 国内.
77. 肥満 CKD 患者の管理には運動療法と食事療法の併用が重要である, ポスター発表, 野口和之, 甲斐平康, 膳法浩文, 水野文夫, 萩原正大, 森戸直記, 臼井丈一, 斎藤知栄, 久野譜也, 山縣邦弘, 第7回日本腎臓リハビリテーション学会, 2017/2/18, 国内.
78. 保存期慢性腎臓病患者における GPAQ を用いた身体活動量評価の妥当性検討, ポスター発表, 李 幸植, 塩見耕平, 斎藤知栄, 永井 恵, 加藤 穰, 河村哲也, 金子修三, 甲斐平康, 森戸直記, 臼井丈一, 羽田康司, 山縣邦弘, 第7回日本腎臓リハビリテーション学会, 2017/2/18, 国内.
79. 慢性腎臓病の身体を捉えることに困難さを抱える患者への支援, 口演, 榊みのり, 阿部安子, 藤原剛司, 浅見暁子, 岩部博子, 森戸直記, 斎藤知栄, 山縣邦弘, 第7回日本腎臓リハビリテーション学会, 2017/2/19, 国内.
80. 糖尿病透析予防指導患者における eGFR 減少のリスク因子の検討 1, 口演, 藤原剛司, 浅見暁子, 高橋弘文, 水間久美子, 岩部博子, 伊藤由実子, 細谷美雅, 仁木沙織, 斎藤知栄, 鈴木浩明, 山縣邦弘, 第7回日本腎臓リハビリテーション学会, 2017/2/19, 国内.
81. 糖尿病透析予防指導患者における eGFR 減量のリスク因子の検討 2, 口演, 浅見暁子, 藤原剛司, 高橋弘文, 水間久美子, 岩部博子, 伊藤由実子, 細谷美雅, 仁木沙織, 斎藤知栄, 鈴木浩明, 山縣邦弘, 第7回日本腎臓リハビリテーション学会, 2017/2/19, 国内.
82. 長期入院を必要とした重症下肢虚血透析症例に対する支援, 口演, 埴原由起子, 小島明子, 阿部安子, 名倉正明, 角田亮也, 藤田亜紀子, 斎藤知栄, 山縣邦弘, 第7回日本腎臓リハビリテーション学会, 2017/2/19, 国内.
83. 保存期慢性腎臓病患者における, 漸増シャトルウォーキングテストによる運動耐容能 検査の妥当性の検討, ポスター発表, 高橋雅文, 塩見耕平, 斎藤知栄, 永井 恵, 加藤 穰, 河村哲也, 金子修三, 甲斐平康, 森戸直記, 臼井丈一, 羽田康司, 小池 朗, 山縣邦弘, 第7回日本腎臓リハビリテーション学会, 2017/2/19, 国内.
84. 糖尿病性腎症によるネフローゼ症候群合併妊娠の一例, 口演, 渡邊めぐみ, 甲斐平康, 石井龍太, 清水達也, 河村哲也, 永井 恵, 藤田亜希子, 金子修三, 森戸直記, 臼井丈一, 斎藤知栄, 濱田洋実, 山縣邦弘, 第27回腎と妊娠研究会, 2017/3/4, 国内.
85. 下肢切断により長期入院となった透析患者に対するチーム医療, 埴原由起子, 小島明子, 阿部安子, 塩見耕平, 相原有希子, 藤田亜紀子, 斎藤知栄, 山縣邦弘, 第15回日本フットケア学会年次学術集会・第6回マゴットセラピー研究会, 2017/3/24, 国内.

86. ANEMIA IS A PRIORITY COMPLICATION OF ANCA-ASSOCIATED RENAL VASCULITIS, ポスター発表, Tetsuya Kawamura, Joichi Usui, Shuzo Kaneko, Kei Nagai, Akiko Fujita, Hirayasu Kai, Naoki Morito, Chie Saito, Kunihiro Yamagata, The 18th International Vasculitis & ANCA Workshop 2017 in TOKYO, 2017/3/28, 国内.
87. 高齢者糖尿病糖尿病患者と CKD 合併高血圧患者の当院外来での血圧コントロール状況、口頭、野口雄一、井上勉、岡田浩一、片山茂裕、日本高血圧学会総会、2016/10/2、国内.
88. 我が国初の思春期・青年期 CKD 患者のための移行医療ガイドについて、口頭、岡田浩一、日本腎臓学会総会、2016/10/7、国内.
89. 透析患者の高血圧管理、口頭、岡田浩一、日本透析医学会総会、2016/6/11、国内.
90. 日本初の CKD 関連ビッグデータベースの設立と活用 QI 調査「CKD 診療ガイドライン 2013」の遵守率、口頭、岡田浩一、日本腎臓学会総会、2016/6/17、国内.
91. バラシクロビルによる急性腎不全・脳症に低 Na 血症を合併し血液浄化法の選択に苦慮した 1 例. 口頭. 朝倉真希, 村上琢哉, 増田貴博, 小林久也, 岡田麻里, 小原麻里菜, 川又 睦, 伊澤 佐世子, 小森さと子, 三木敦史, 菅生太朗, 小林高久, 小出玲爾, 秋元 哲, 齋藤 修, 武藤重明, 長田太助: 第 61 回日本透析医学会学術集会・総会, 大阪, 2016/6/11(透析会誌 49(Suppl 1): 513, 2016.), 国内.
92. SGLT2 阻害薬ダパグリフロジンが体液貯留の改善に有効であった糖尿病性腎症の 1 例. 口頭. 荒川雅崇, 岡田麻里, 増田貴博, 菅生太朗, 今井利美, 秋元 哲, 齋藤 修, 武藤重明, 長田太助: 第 623 回日本内科学会関東地方会, 東京, 2016/5/14(日本内科学会関東地方会 623 回: 25, 2016.), 国内.
93. 透析導入患者の悪性腫瘍の既往と導入期の合併について. ポスター. 伊藤千春, 今井利美, 川又睦, 大西 央, 小倉 学, 小林高久, 武田真一, 井上 真, 長田太助: 第 61 回日本透析医学会学術集会・総会, 大阪, 2016/6/10(透析会誌 49(Suppl 1): 664, 2016.), 国内.
94. 透析効率(Kt/Vsp)算出時の V 値の検討 InBody-S20 の総体水分量(TBW)での考察. 口頭. 上野幸司, 河西由香里, 大山彩香, 菊地孝典, 白石 武, 吉村 章, 齋藤孝子, 菅生太朗, 山本尚史, 井上真, 齋藤 修, 長田太助: 第 26 回日本臨床工学会, 京都, 2016/5/15(日本臨床工学技士会誌 57: 223, 2016.), 国内.
95. DCS-100NX の透析量モニター(DDM)と透析効率(Kt/Vsp)の比較 InBody-S20 の総体水分量(TBW)での検討. 口頭. 上野幸司, 齋藤孝子, 齋藤 修, 長田太助: 第 61 回日本透析医学会学術集会・総会, 大阪, 2016/6/10(透析会誌 49(Suppl 1): 496, 2016.), 国内.
96. 肺扁平上皮癌の根治的切除後の尿蛋白減少中に膜性腎症と診断した 1 例. ポスター. 大原 健, 増田貴博, 小原麻里菜, 鈴木 司, 松原大祐, 金井信行, 小野祐子, 秋元 哲, 齋藤 修, 上田善彦, 武藤重明, 長田太助: 第 46 回日本腎臓学会東部学術大会, 東京, 2016/10/7(日腎会誌 58(6): 782, 2016), 国内.
97. 単クローン性免疫グロブリン血症(MGUS)を合併し、診断に苦慮した顕微鏡的多発血管炎症(MPA)による尿細管間質性腎炎(TIN)の 1 例. ポスター. 岡健太郎, 菱田英里華, 小林高久, 増田貴博, 秋元 哲, 鈴木 司, 小野祐子, 上田善彦, 武藤重明, 長田太助: 第 113 回日本内科学会総会・講演会医学生研修医の日本内科学会ことはじめ 2016 東京, 東京, 2016/4/16, 国内.
98. 慢性腎臓病の睡眠呼吸障害に関連する因子の検討. 口頭. 岡田麻里, 増田貴博, 三木敦史, 菱田英里華, 小原麻里菜, 村上琢哉, 山崎智行, 三木拓哉, 菅生太朗, 渡邊裕子, 小林高久, 秋元 哲, 齋

- 藤 修, 武藤重明, 長田太助:第 39 回日本高血圧学会総会, 仙台, 2016/9/30(日本高血圧学会総会プログラム・抄録集 39 回: 359, 2016.), 国内.
99. 維持透析患者における 1 年間の体成分変動と日常活動性に関する検討. 口頭. 菊池和也, 増田貴博, 木島結美, 倉橋拓磨, 菊地なぎさ, 國井良子, 川上亜希子, 瀧 愛弥, 亀井沙智, 熊田正樹, 鈴木敦子, 長田太助, 宮澤保春第 61 回日本透析医学会学術集会・総会, 大阪, 2016/6/11(透析会誌 49(Suppl 1): 576, 2016.), 国内.
100. 透析患者の血中 FGF21 高値は生命予後悪化の危険因子である. ポスター. 小原麻里菜, 増田貴博, 椎崎和弘, 秋元 哲, 本間寿美子, 渡邊裕子, 齋藤 修, 武藤重明, 草野英二, 浅野 泰, 黒尾 誠, 長田太助:第 59 回日本腎臓学会学術総会, 横浜, 2016/6/17(日腎会誌 58(3): 342, 2016.), 国内.
101. 急性腎障害を契機に診断され、多彩な肺病編を呈した多発性骨髄腫とアミロイドーシスの 1 例. ポスター. 周東美和, 小原麻里菜, 増田貴博, 今井利美, 小林高久, 武田真一, 齋藤 修, 福嶋敬宜, 武藤重明, 長田太助: 第 113 回日本内科学会総会・講演会医学生研修医の日本内科学会ことはじめ 2016 東京, 東京, 2016/4/16, 国内.
102. 当院において自己血管内シヤント造設術後早期に施行した VAIVT(Vascular Access Intervention Therapy)に関する検討. ポスター. 菅生太郎, 三木拓哉, 三木敦史, 今井利美, 黒澤 明, 南木浩二, 木村貴明, 秋元 哲, 長田太助:第 59 回日本腎臓学会学術総会, 横浜, 2016/6/19(日腎会誌 58(3): 382, 2016.), 国内.
103. 透析患者の便秘症に対するトコロテンの効果に関する研究. 口頭. 手塚友代, 平出裕紀, 山崎剛史, 黒木睦美, 星野雅子, 杉本照子, 三木真紀, 小藤 篤, 小藤田敬介, 長田太助: 第 61 回日本透析医学会学術集会・総会, 大阪, 2016/6/11(透析会誌 49(Suppl 1): 587, 2016.), 国内.
104. SGLT2 阻害薬イプラグリフロジン(Ipra)は、飲料水・食餌量と独立した利尿作用により体液量を減少させる. 口頭. 増田貴博, 渡邊裕子, 渡邊 南, 福田恵子, 大西 央, Vallon, Volker, 長田太助:第 59 回日本腎臓学会学術総会, 横浜, 2016/6/18(日腎会誌 58(3): 294, 2016.), 国内.
105. 人工血管感染を繰り返す透析患者に併発した粟粒結核の 1 例. 口頭. 菱田英里華, 増田貴博, 山崎智行, 菅生太郎, 武島えり, 五十嵐祐介, 伊澤佐世子, 黒澤 明, 南木浩二, 小林高久, 武田真一, 秋元 哲, 八木澤 隆, 齋藤 修, 武藤重明, 長田太助:第 61 回日本透析医学会学術集会・総会, 大阪, 2016/6/10(透析会誌 49(Suppl 1): 475, 2016.), 国内.
106. SGLT2 阻害薬イプラグリフロジンは、体内 Na 量や体液量とは独立した機序により血圧を低下させる. 口頭. 増田貴博, 渡邊裕子, 渡邊 南, 福田恵子, 大西 央, Vallon, Volker, 長田太助: 第 39 回日本高血圧学会総会, 仙台, 2016/9/30-10/2(日本高血圧学会総会プログラム・抄録集 39 回: 345, 2016.), 国内.
107. メイ・ヘグリン異常症による著明な血小板減少と出血傾向を呈した 1 腹膜透析導入症例. 口頭. 三木敦史, 増田貴博, 小原麻里菜, 山崎智行, 大原 健, 岡田麻里, 伊澤佐世子, 秋元 哲, 齋藤 修, 武藤重明, 長田太助:第 46 回日本腎臓学会東部学術大会, 東京, 2016/10/8(日腎会誌 58(6): 810, 2016.), 国内.
108. 口蓋扁桃摘出直後に腎機能低下を伴う高度尿蛋白を呈した IgA 腎症の 1 例. 口頭. 茗荷宏昭, 三木敦史, 増田貴博, 菱田英里華, 吉澤寛道, 小林高久, 秋元 哲, 齋藤 修, 武藤重明, 長田太助: 第 46 回日本腎臓学会東部学術大会, 東京, 2016/10/8(日腎会誌 58(6): 769, 2016.), 国内.

109. トルバプタンが細胞内・外水分量に及ぼす効果の検討. ポスター. 村上琢哉, 増田貴博, 小林高久, 五十嵐祐介, 菅生太朗, 武田真一, 秋元 哲, 齋藤 修, 武藤重明, 長田太助:第 113 回日本内科学会総会・講演会, 東京, 2016/4/16(日内会誌 105(Suppl 1): 218, 2016.), 国内.
110. 生体腎移植ドナーが移植 5 年後に IgA 腎症を新規発症した 1 例. 口頭. 村上琢哉, 増田貴博, 菅生太朗, 木村貴明, 清水俊洋, 鈴木 司, 秋元 哲, 齋藤 修, 八木澤 隆, 武藤重明, 長田太助:第 46 回日本腎臓学会東部学術大会, 東京, 2016/10/8(日腎会誌 58(6): 769, 2016.), 国内.
111. アマンタジン中毒に対し血液吸着(DHP)と血液濾過透析(HDF)併用が有効であった 1 症例. ポスター. 山崎智行, 小林高久, 三木敦史, 岡田麻里, 小原麻里菜, 菱田英里華, 中川早紀, 小森さと子, 吉澤寛道, 小藤田 篤, 増田貴博, 秋元 哲, 齋藤 修, 武藤重明, 長田太助: 第 61 回日本透析医学会学術集会・総会, 大阪,2016/6/12(透析会誌 49(Suppl 1): 906, 2016.), 国内.
112. メソトレキセート(MTX)による急性腎障害に対し, 血液吸着(HA), オンライン HDF(OHDF)が有効であった 1 例. ポスター. 吉澤寛道, 小林高久, 若林奈津子, 大原 健, 武島えり, 谷澤志帆, 伊澤佐世子, 竹井尚子, 三木拓哉, 今井利美, 武田真一, 秋元 哲, 齋藤 修, 武藤重明, 長田太助: 第 61 回日本透析医学会学術集会・総会, 大阪,2016/6/11(透析会誌 49(Suppl 1): 781, 2016.), 国内.
113. 高度の腎障害を呈した肉芽種性間質性腎炎によるサルコイドーシスの一例. ポスター. 岡田麻里, 増田貴博, 菅生太郎, 鈴木 司, 河田浩敏, 金井信行, 小野祐子, 秋元 哲, 齋藤 修, 上田善彦, 武藤重明, 長田太助: 第 46 回日本腎臓学会東部学術大会, 東京, 2016/10/7(日腎会誌 58(6): 784, 2016.), 国内.
114. Serum Fibroblast Growth Factor 21 Predicts All-Cause Mortality in EndStage Renal Disease. ポスター Kohara, M., Masuda, T., Shiizaki, K., Akimoto, T., Watanabe, Y., Honma, S., Sekiguchi, C., Miyazawa, Y., Kusano, E., Asano, Y., Kuro-o, M., Nagata, D.: 50th American Society of Nephrology, (ASN Kidney Week 2016), Chicago, IL, Nov15-20, 2016, (Abs. J. Am. Soc. Nephrol. 27: 578A, 2016.), 国外.
115. 糖尿病腎症・心血管病の予防・進展抑制に向けた集学的アプローチ 糖尿病腎症の治療における血糖管理のエビデンスと実際. 口頭, 四方賢一,日本高血圧学会シンポジウム,2016/10/2、国内.
116. 糖尿病腎症の治療 食事療法を中心に.口頭, 四方賢一. 日本糖尿病合併症学会教育講演.2016/10/8、国内.
117. 慢性腎臓病とビタミン D, 口頭、札幌、深川雅史: 分野別シンポジウム 4 ビタミン D 新時代～多彩な作用と欠乏症、第 119 回日本小児科学会学術集会、5/13/2016, 国内.
118. 特定健診から見える CKD のリスク,口頭, 旭 浩一, 第 18 回国際腎と栄養代謝学会(第 1 回世界腎と栄養週間)日本語セッションプログラム, 2016/4/20, 国内.
119. 特定健康診査による個人リスク評価に基づく、保健指導と連結した効果的な CKD 地域医療連携システムの制度設計, 口頭, 旭 浩一, 渡辺毅, 第 59 回日本腎臓学会学術総会, 2016/6/17, 国内
120. Lowering diastolic blood pressure was associated with higher incidence of chronic kidney disease in general population only in those using antihypertensive medication, Poster, Uchida D, Kido R, Kawarazaki H, Murasawa M, Fujimoto S, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Konta T, Narita I, Kondo M, Kasahara M, Asahi K, Watanabe T, Shibagaki M, Kidney Week 2016, 2016/11/18, 国外.

121. International variations in the frequency of the types of patient-physician contact for CKD patients: early findings from CKDopps, Poster, Speyer E, Stengel B, Asahi K., Bieber B, Lopes AA, Pisoni RL, Sukul N, Tentori F, Kidney Week 2016, 2016/11/19, 国外.
122. (教育講演良くわかるシリーズ) ネフローゼ症候群: 食事と生活指導. 成田一衛. (口演) 第7回日本腎臓リハビリテーション学会. つくば市、2017/2/18, 国内.
123. Two Forms of Urinary Megalin Excretion Are Novel Predictors of the Progression of Early-Stage Diabetic Nephropathy in Type 2 Diabetes Mellitus. Tomomichi Iida, Ichiei Narita, et al. (ポスター) American Society of Nephrology 2016, Chicago, USA. Nov 17, 2016, 国外.
124. Net Endogenous Acid Production, an Index of Dietary Acid Load, Is Associated with the Progression of CKD. Koji Toba, Ichiei Narita, et al. (ポスター) American Society of Nephrology 2016, Chicago, USA. Nov 17, 2016, 国外
125. Protein-Bound Uremic Toxin Adsorption by Hexadecyl-Immobilized Cellulose Beads in Hemodialysis. Suguru Yamamoto, Ichiei Narita, et al. (ポスター) American Society of Nephrology 2016, Chicago, USA. Nov 17, 2016, 国外.
126. Coronal Sectional Areas of the Kidney Components Measured by Noncontrast-Enhanced Steady-State Free Precession Magnetic Resonance Imaging with Spatially Selective Inversion Recovery Pulse and Their Association with Chronic Kidney Disease. Tadashi Otsuka, Ichiei Narita, et al. (ポスター) American Society of Nephrology 2016, Chicago, USA. Nov 18, 2016, 国外.
127. Differential Effects of Angiotensin II Receptor Blocker (ARB) versus ACE Inhibitor (ACEI) on HDL Functionality in Patients on Maintenance Hemodialysis (MHD). Ryohei Kaseda, Ichiei Narita, et al. (ポスター) American Society of Nephrology 2016, Chicago, USA. Nov 18, 2016, 国外.
128. Steroid-Treatment Promotes a M2 Pro-Fibrotic Macrophage Phenotypic in Lupus Nephritis. Yohei Ikezumi, Ichiei Narita, et al. (ポスター) American Society of Nephrology 2016, Chicago, USA. Nov 18, 2016, 国外.
129. Renin-Angiotensin System Inhibition Ameliorates Bone Fragility Through Blocking Both Osteocytic and Osteoblastic Actions in Uremic Rats. Takuya Wakamatsu, Ichiei Narita, et al. (ポスター) American Society of Nephrology 2016, Chicago, USA. Nov 19, 2016. 国外.
130. (大島賞受賞講演) 尿毒症物質に着目した慢性腎臓病関連心血管病の病態解明と治療. 山本 卓、成田一衛 (口演) 第59回日本腎臓学会学術総会. 2016/6/17, 国内.
131. (シンポジウム) IgA 腎症の口蓋扁桃陰窩のマイクロバイオーム解析. 後藤 眞、渡辺博文、土田雅史、井ノ上逸朗、黒川 颯、成田一衛 (口演) 第59回日本腎臓学会学術総会, 横浜市 2016/6/17, 国内.
132. (シンポジウム) AA型アミロイドーシスと生物学的製剤. 黒田 毅、長谷川絵理子、野澤由貴子、佐藤弘恵、中枝武司、和田庸子、中野正明、成田一衛 (口演) 第59回日本腎臓学会学術総会, 横浜市 2016/6/17, 国内.
133. ネフローゼ症候群モデルにおける細胞極性因子 Par3 の発現動態の解析. 高村紗由里、福住好恭、張 瑩、成田一衛、河内 裕 (口演) 第59回日本腎臓学会学術総会, 横浜市 2016/6/17, 国内.

134. レニン-アンジオテンシン系阻害は腎不全ラットの骨石灰化と弾性を改善させる. 若松拓也、山本卓、松尾浩司、岩崎香子、伊藤明美、風間順一郎、成田一衛 (口演) 第 59 回日本腎臓学会学術総会, 横浜市 2016/6/18, 国内.
135. 透析患者の骨折リスクとミネラル代謝の前向き研究. 風間順一郎、山本卓、成田一衛、宮越千智、大西良浩、福間真吾、福原俊一、深川雅史、秋澤忠男 (口演) 第 59 回日本腎臓学会学術総会, 横浜市 2016/6/19, 国内.
136. (シンポジウム) 感染症による年齢調整死亡率は改善していない~1988 年から 2013 年までの経年変化~. 若杉三奈子、風間順一郎、成田一衛 (口演) 第 61 回日本透析医学会学術集会・総会, 大阪市、2016/6/12, 国内.
137. ヘキサデシル基固定セルロースビーズは蛋白結合尿毒症物質を吸着する. 山本卓、風間順一郎、佐藤茉美、若松拓也、高橋良光、恵以盛、大森健太郎、井口昭、鈴木靖、成田一衛 (口演) 第 61 回日本透析医学会学術集会・総会, 大阪市、2016/6/12, 国内.
138. レニン-アンジオテンシン系(RAS)阻害薬の血液透析患者(HD)HDL への効果. 俣田亮平、細島康宏、土田陽平、斎藤亮彦、Kon Valentina、成田一衛 (口演) 第 61 回日本透析医学会学術集会・総会, 大阪市、2016/6/12, 国内.
139. AA アミロイド腎症への対応. 黒田毅、長谷川絵理子、野澤由貴子、佐藤弘恵、中枝武司、和田庸子、中野正明、成田一衛 (口演) :第 60 回日本リウマチ学会総会・学術集会. 横浜市、2016/4/21, 国内.
140. 関節リウマチ患者における Porphyromonas gingivalis PAD 血清抗体価と Biologic DMARDs 反応性との関連性. 小林哲夫、伊藤聡、小林大介、成田一衛、村澤章、中園清、吉江弘正 (口演) 第 60 回日本リウマチ学会総会・学術集会. 横浜市、2016/4/21, 国内
141. 慢性腎臓病患者における自記式食事歴質問票(DHQ)を用いた食事性酸負荷の評価. 鳥羽宏司、細島康宏、俣田亮平、石川友美、和田恵梨、桑原頌治、渡邊令子、成田一衛、鈴木芳樹、斎藤亮彦 (口演) :第 19 回日本病態栄養学会年次学術集会. 横浜市、2016/1/9, 国内
142. 脂質異常症の慢性腎臓病に及ぼす影響: 特定健診データの解析より, 口頭, 鶴屋和彦, 吉田寿子, 北園孝成, 第 59 回日本腎臓学会学術総会, 2016/6/17, 国内.
143. 高齢虚弱CKD患者の身体・認知機能とその維持. 口演 柴垣有吾. 第 58 回日本老年医学会学術集会, 2016, 国内.
144. どう生かす、高齢者の生活習慣病ガイドライン 超高齢化社会における CKD ガイドラインをどう考えるか. 口演 柴垣有吾. 第 58 回日本老年医学会学術集会, 2016 国内
145. 末期腎不全患者に対する最適な腎代替療法提案のポイント. 口演 谷澤雅彦, 柴垣有吾. 第 59 回日本腎臓学会学術総会, 2016, 国内.
146. 糖尿病合併 CKD のフレイル高齢者における切実なアウトカムを考える.What it the most relevant outcome in frail with CKD and diabetes. 口演 柴垣有吾. 第 39 回日本高血圧学会総会, 2016, 国内.
147. 高齢虚弱 CKD 患者の身体・認知機能とその維持. 口演 柴垣有吾. 第 7 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2017, 国内.
148. シンポジウム 腎性貧血治療ガイドラインと個別化治療, 口頭, 西慎一. 第 61 回日本透析学会学術総会 2016/6/12, 国内.

149. 腎臓内科の立場からの腎移植推, 口頭, 西慎一. 第 61 回日本透析学会学術総会, 2016/6/12, 国内.
150. Effect of Lanthanum Carbonate on Coronary Artery Calcification During the Early Period After The Initiation of Haemodialysis, ポスター, Hideki Fujii, Kentaro Nakai, Keiji Kono, Shunsuke Goto, Ken Kitamura, Yuriko Yonekura, Shuhei Watanabe, Rie Awata, Mikiko Yoshikawa, Shinichi Nishi, The 53rd ERA-EDTA Congress, 2016/5/23/, 国外.
151. Impact of Hypokalemia on Peritonitis in Peritoneal Dialysis Patients, ポスター, Kentaro Nakai, Kei Saitoh, Shinichi Nishi. A Systematic Review. American Society of Nephrology. Kidney Week. 2016/11/18, 国外.
152. Correlation between resistance index and urinary albumin excretion at early stage after renal transplantation 口頭 Kabei K, Uchida J, Nishide S, Machida Y, Iwai T, Kuwabara N, Naganuma T, Kumada N, Nakatani T 26th International Congress of The Transplantation Society 2016.8.19, 国外.
153. Acute cellular rejection in ABO-incompatible kidney transplant recipients receiving rituximab is associated with late-onset neutropenia 口頭 Uchida J Iwai T, Kuwabara K, Nishide S, Kabei K, Yamasaki Y, Naganuma T, Kumada N, Takemoto Y, Nakatani T. 26th International Congress of The Transplantation Society 2016.8.20, 国外.
154. EFFICACY OF SELECTIVE PLASMA EXCHANGE AS PRETRANSPLANT APHERESIS IN ABO-INCOMPATIBLE KIDNEY TRANSPLANTATION 口頭 Naganuma T Takemoto Y, Masuda A, Kitamura K, Uchida J, Nakatani T 15th Asian Pacific Congress of Nephrology & 52nd Australian and New Zealand Society of Nephrology Annual Scientific Meeting 2016.9.21, 国外.
155. Establishing a cost-effective community based screening for CKD, 口頭, Kondo M, 11th Asian Forum of CKD initiative, 2017/3/29, 国外.
156. 改正個人情報保護法の概要と医療における課題, 口頭, 中島 直樹, 平成 28 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議, 2017/1/25~2017/01/27, 国内.
157. パターン ID と患者 ID から生成する統合 ID(自動名寄せ技術)の個人を特定する能力評価と、それを用いた施設間の連結がもたらす大規模医療情報データベースにおける経時性や網羅性に対する有用性の評価, 口頭, 藤井 進, 野中 小百合, 南雲 文夫, 堀田 多恵子, 末岡 榮三郎, 中島 直樹, 康東天, 第 36 回医療情報学連合大会(第 17 回日本医療情報学会学術大会), 2016/11/21~2016/11/24, 国内.
158. MID-NET 事業成果報告 : 医薬品曝露に伴う有害事象の発現に関するスク립ト検討, 口頭, 伊豆倉理江子, 山下 貴範, 野尻 千夏, 野原 康伸, 中島 直樹, 第 36 回医療情報学連合大会(第 17 回日本医療情報学会学術大会), 2016/11/21~2016/11/24, 国内.
159. 機械学習を用いた探索的なクリニカルパス分析, 口頭, 松本 晃太郎, 野原 康伸, 若田 好史, 山下 貴範, 牟田 大助, 西 徹, 中熊 英貴, 小妻 幸男, 甲斐 聖人, 町田 二郎, 副島 秀久, 中島 直樹, 第 36 回医療情報学連合大会(第 17 回日本医療情報学会学術大会), 2016/11/21~2016/11/24, 国内.
160. コホート研究を目的とした情報処理システム : コホートメーカー, 口頭, 山本 陵平, 新澤 真紀, 守山 敏樹, 猪阪 善隆, 杉山 斎, 丸山 彰一, 中島 直樹, 岡田 浩一, 岡田 美保子, 柏原 直樹, 第 36 回医療情報学連合大会(第 17 回日本医療情報学会学術大会), 2016/11/21~2016/11/24, 国内.

161. 汎用型臨床研究データ収集システムの比較研究, 口頭, 安徳 恭彰, 若田 好史, 行実 史子, 錦谷 まりこ, 徳永 章二, 中島 直樹, 第 36 回医療情報学連合大会(第 17 回日本医療情報学会学術大会), 2016/11/21~2016/11/24, 国内.
162. J-DREAMS などの疾患コホート研究の意義と医療情報部門の役割, 口頭, 中島 直樹, 植木 浩二郎, 美代 賢吾, 興梠 貴英, 森永 裕, 谷 祐児, 第 36 回医療情報学連合大会(第 17 回日本医療情報学会学術大会), 2016/11/21~2016/11/24, 国内.
163. 統合解析可能な大規模医療情報データベース構築と維持における、JLAC10 自動マッピングツールの作成と性能評価, 口頭, 藤井 進, 野中 小百合, 南雲 文夫, 堀田 多恵子, 末岡 榮三郎, 中島 直樹, 康 東天, 第 36 回医療情報学連合大会(第 17 回日本医療情報学会学術大会), 2016/11/21~2016/11/24, 国内.
164. 容易・正確・効率的な JLAC10 マッピングツールとして体外診断用医薬品承認番号利用の有効性, 口頭, 南雲 文夫, 藤井 進, 野中 小百合, 堀田 多恵子, 中島 直樹, 末岡 榮三郎, 康 東天, 第 36 回医療情報学連合大会(第 17 回日本医療情報学会学術大会), 2016/11/21~2016/11/24, 国内.
165. Exploratory Data Analysis of Clinical Pathway for Brain Hemorrhage Using Machine Learning Technique , 口頭, Koutarou Matsumoto, Yasunobu Nohara , Yoshifumi Wakata, Takanori Yamashita, Naoki Nakashima ,The 17th China-Japan-Korea Joint Symposium on Medical Informatics (CJKMI2016), 2016/11/22, 国内.
166. Predicting Daily Nursing Load from Nurses' Activity Logs and Patients' Medical Records, 口頭, Sozo Inoue, Yasuhiko Sugiyama, Tasuya Isoda, Yasunobu Nohara, Mako Shirouzu, Naoki Nakashima, UbiComp '16. Heidelberg. 2016/11/12~2016/11/16, 国外.
167. センサネットワークを用いた急性期病棟の包括的行動センシングによる看護師業務改善, 口頭, 野原康伸, 井上 創造, 磯田 達也, 白水 麻子, 杉山 康彦, 瀬高 香澄, 前崎 元美, 中島 直樹, 第 20 回日本医療情報学会春季学術大会, 2016/6/2~2016/6/4, 国内.
168. 機械学習手法を用いた脳梗塞の予後予測因子の抽出, 口頭, 野原 康伸, 松本 晃太郎, 中島 直樹, 第 3 回医療情報学会・人工知能学会 AIM 合同研究会, 2017/03/09,~2017/03/10, 国内.
169. Generation of Sentence Template Graph from SOAP Format Medical Documents , 口頭, Naoya Onimura, Takanori Yamashita, Naoki Nakashima, Hidehisa Soejima, Sachio Hirokawa, CSCI2016. Las Vegas. 2016/12/15~2016/12/17, 国外.
170. Prediction of Key Patient Outcome from Sentence and Word of Medical Text Records , 口頭, Takanori Yamashita, Yoshifumi Wakata, Hidehisa Soejima, Naoki Nakashima, Sachio Hirokawa, COLING2016. Osaka, Japan. 2016/12/11~2016/12/17, 国内.
171. Structuralization of Variance Text Records in Clinical Pathway , 口頭, Naoki Nakashima, Yoshifumi Wakata, Hidehisa Soejima, Takanori Yamashita, Sashio Hirokawa ,APAMI2016. Seoul, Korea, 2016/11/2~2016/11/5, 国外.
172. 腎移植後高尿酸血症, 口頭シンポジウム, 祖父江理, 第 61 回日本透析医学会学術集会, 2016/6/12, 国内.
173. 移植腎機能に影響する要因: 臨床と病理、腎臓内科医から移植医へ, 口頭シンポジウム, 祖父江理, 第 59 回日本腎臓学会学術集会, 2016/6/19, 国内.

174. 血清学的 IgA 活動性定量による腎移植後 IgA 沈着症の非侵襲的診断の検討, 口頭, 祖父江理、鈴木仁、守時政宏、西島陽子、串田吉生、笈善行, 第 59 回日本腎臓学会学術集会, 2016/6/19, 国内.
175. 移植腎後再発および新規発症 IgA 腎症/沈着症, 祖父江理, 口頭 教育セミナー, 移植腎病理研究会第 20 回学術集会, 2016/7/16, 国内.
176. 摘出腎生検における尿細管老化は移植腎機能規定因子である, 口頭, 祖父江理、河上和代、西島陽子、守時政宏、大崎博之、串田吉生、笈善行、西山成、南野哲男, 第 39 回日本高血圧学会総会, 2016/9/30, 国内.
177. 香川県における慢性腎臓病(CKD)受診勧奨・病診連携システムの構築, 口頭, 祖父江理、山崎康司、山中正人、清水真樹、高橋則尋、横井徹、小路哲生、三宅速、大林弘明、松原啓介、明石好弘、藤岡宏、石津勉、秋山賢次、守時政宏、西島陽子、岡野由佳、安岐康晴、原大雅、南野哲男, 平成 28 年度香川県医学会, 2016/11/3, 国内
178. 血液透析患者における塩分味覚障害と透析間体重増加との関連, ポスター, 大谷麻衣, 門浩志, 土井洋平, 庵谷千恵子, 大前憲史, 西脇宏樹, 玉垣圭一, 第 61 回日本透析医学会学術集会, 2016/6/10, 国内.
179. 腎臓専門医診療を受けた慢性腎臓病患者の長期予後, ポスター, 大谷麻衣, 門浩志, 小牧和美, 塩津弥生, 草場哲郎, 玉垣圭一, 第 59 回日本腎臓学会学術総会, 2016/6/17, 国内.
180. 血圧低値とシスプラチン腎症のリスク 後ろ向きコホート研究, ポスター, 小牧和美, 大谷麻衣, 門浩志, 塩津弥生, 草場哲郎, 玉垣圭一, 第 59 回日本腎臓学会学術総会, 2016/6/19, 国内.

(3) 「国民との科学・技術対話社会」に対する取り組み

1. 腎機能低下時の薬物使用における注意, 山縣邦弘, ラジオ日経 杏林シンポジア, 2016/6/27, 国内.
2. CKD, 山縣邦弘, TBS ラジオ「明日も元気」, 2016/9/26~30, 国内.
3. 腎機能を守るコツとルール、山縣邦弘、市民公開講座～ あなたの腎臓を守りましょう～、2016/9/25、国内.
4. あなたは大丈夫？糖尿病性腎症、古市賢吾、市民公開講座～ あなたの腎臓を守りましょう～、2016/9/25、国内.
5. 腎炎・ネフローゼってどんな病気？、丸山彰一、市民公開講座～ あなたの腎臓を守りましょう～、2016/9/25、国内.
6. 糖尿病性腎症重症化予防について、山縣邦弘、茨城県市町村保健師等研修会、2016/12/7、国内.
7. あなたの腎臓を守るために、山縣邦弘、市民公開講座「あなたの腎臓を守るために」、2017/1/22、国内.
8. 新しい腎疾患ガイドライン、岡田浩一、CKD 啓発イベント「実践的な CKD 対策：学際的連携と協働」、2017/3/12、国内.
9. 腎臓病患者の血圧管理、長田太助, ラジオ日経 杏林シンポジア, 2016/6/20, 国内.
10. 慢性腎臓病 (CKD) について、長田太助, NHK ときめきとちぎ, 2016/7/1, 国内.

11. 慢性腎臓病（CKD）とメタボリックシンドローム。藤元昭一，宮崎県特定健診・特定保健指導に関する実践者育成研修会，2016/6/28，国内。
12. CKD とその対策について。藤元昭一，平成 28 年度保健師職能研修会，2016/12/17，国内。
13. STOP CKD! 慢性腎臓病を知ろう，祖父江理 第 13 回イキイキサぬき健康塾 -香川大学病院と最新医療- 2016/4/3，国内。
14. 健診でわかる腎臓の働き，祖父江理 平成 28 年度東かがわ市慢性腎臓病予防講座 2017.2.1 国内。
15. 慢性腎臓病の予防と治療について，祖父江理 健康フェスティバル in 滝宮 2017 2017.2.12 国内。
16. 腎臓と腎臓病について，祖父江理 平成 28 年度さぬき市腎臓病予防講演会 2017.2.24 国内。
17. 健診でわかる慢性腎臓病，祖父江理 世界腎臓デーイベント 2017 in かがわ 2017.3.5 国内。
18. 腎臓の働きについて 慢性腎臓病を予防するために生活習慣，祖父江理 平成 28 年度三豊市慢性腎臓病予防講演会 2017.3.17 国内。

(4) 特許出願

なし